

令和8年度 海活動マニュアル と 海の活動集



由良海水浴場：いかだ活動



由良海洋釣り堀



漁業実習船乗船



山形県金峰少年自然の家

海活動マニュアルと海の活動集 もくじ

<海活動マニュアル>

- ◆「由良」エリアマップ 1
- ◆海活動エリアまでの所要時間・各エリアでできる主な活動 2
- ◆海関係提出書類一覧 3
- ◆利用料金について 4
- ◆各施設のご案内
 - 由良コミュニティセンター 5
 - 海テラスゆら磯の風、温水シャワー 6
 - 由良小屋 7
- ◆引率者の方へ 海の事故防止についてのお願い
 - 海・その他の事故防止、緊急・災害時の避難と体制 8-9
 - 医療機関一覧、海の関係機関、津波災害避難地図 10-11

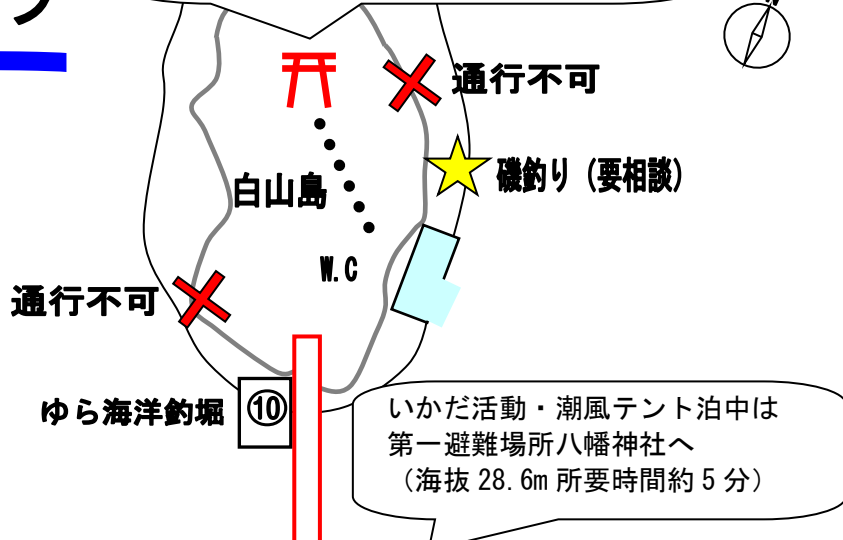
<海の活動集>

- 活動一覧 12
- 海活動全般に関わる留意事項 13
- いかだづくり、可否判断、禁止事項 14
- 加茂～由良シーサイドウォーク 18
- 潮風テント泊 20
- 潮風野外炊飯 24
- 海のゆりかご学習 25
- 磯あそび・カニ釣り 26
- 白山島散策、海岸散策、ビーチコーミング 27
- 磯釣り・堤防釣り、釣堀 28
- 夜の生き物観察、海岸清掃ボランティア 30
- サンドアート、ボンファイヤー、海水浴、潮風クラフト 31
- 加茂水族館見学・クラゲ学習会、海ごみ学習会 35
- 加茂漁業実習船乗船・加茂磯採集・加茂水産高校見学 36
- 栽培漁業センター見学 38
- ◆各種申請書類 記入例 39

金峰少年自然の家 「由良」エリアマップ

①	いかだ活動場所
②	潮風テント設営場所
③	由良小屋（プレハブ）
④	海テラスゆら磯の風（旧フィッシングセンター）
⑤	温水シャワー（海テラスゆら内）
⑥	由良コミュニティセンター正面玄関（AED設置場所）
⑦	水シャワー・由良コミセン裏口（2F）
⑧	水場（潮風炊飯場所）
⑨	人工ビーチ
⑩	ゆら海洋釣堀
⑪	1次避難場所（八幡神社）
⑫	2次避難場所（旧由良小）
⑬	ホテル八乙女（AED設置場所）

白山島で活動中（散策・ゆら海洋釣堀・磯釣り等）は石段を上り高台の白山神社へ
（海拔 50.6m 所要時間約 4分）



人工ビーチ磯あそび中は第一避難場所八幡神社へ
（海拔 28.6m 所要時間約 4分）

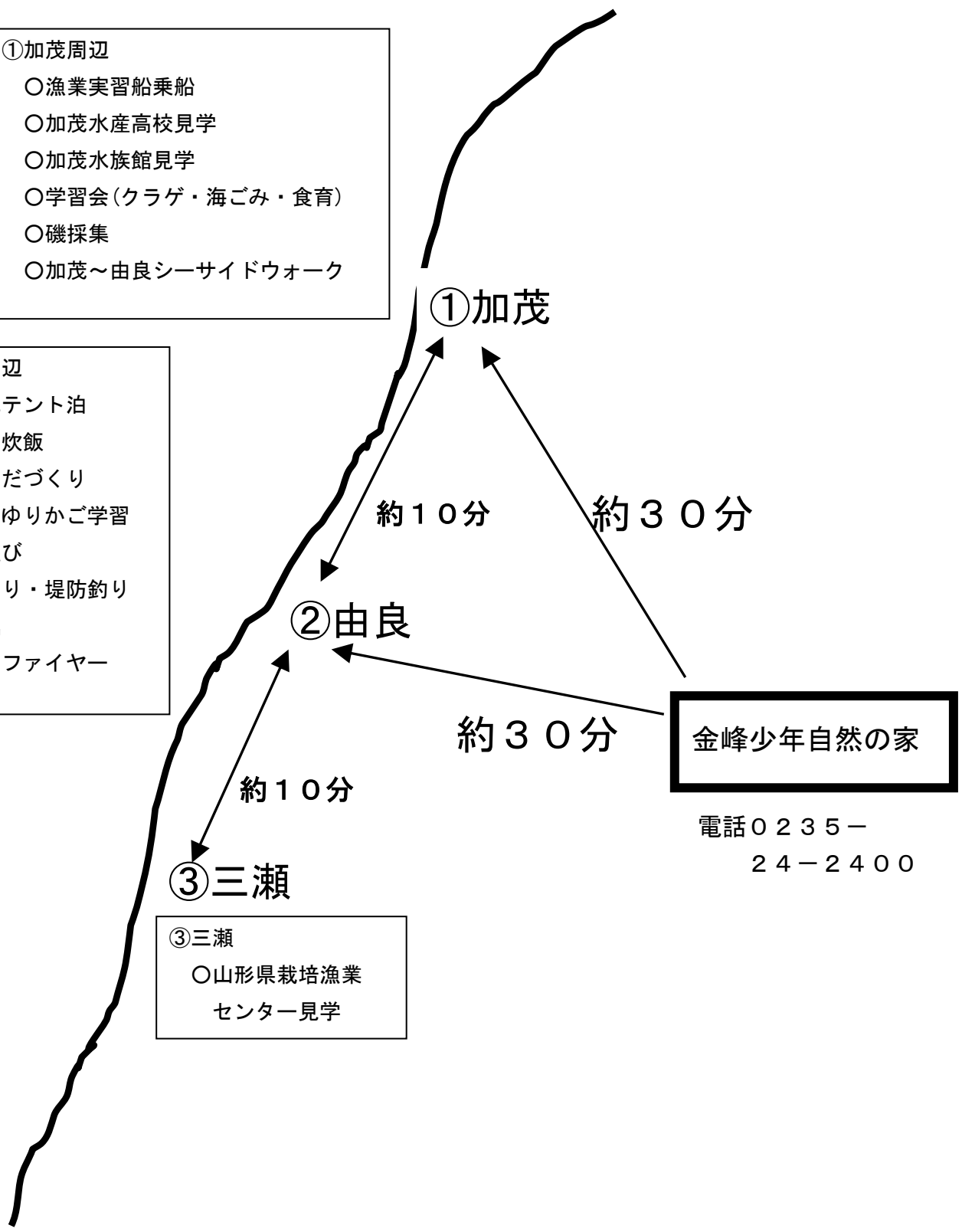


**自然の家から海活動エリアまでの所要時間 (バス移動)
各エリアでできる主な活動**

- ①加茂周辺
- 漁業実習船乗船
 - 加茂水産高校見学
 - 加茂水族館見学
 - 学習会(クラゲ・海ごみ・食育)
 - 磯採集
 - 加茂～由良シーサイドウォーク

- ②由良周辺
- 潮風テント泊
 - 野外炊飯
 - いかだづくり
 - 海のゆりかご学習
 - 磯遊び
 - 磯釣り・堤防釣り
 - 釣堀
 - ボンファイヤー

- ③三瀬
- 山形県栽培漁業センター見学



金峰少年自然の家

電話0235-
24-2400

令和8年度 海活動関係提出書類一覧

利用団体名:

利用日: ~

下記のいずれかの方法で、締切までに提出をお願いします。 ※各書類は、最新版のダウンロードをお願いします。

提出書類名	提出が必要な団体	提出先	提出方法	提出締切・留意点	
由良コミュニティセンター 使用許可申請書 (3部複写式)	いかだ活動を行う団体 及び由良で海の活動を行う団体	金峰少年自然の家	郵送、持参	★なるべく早く 令和8年3月4日 まで	複写用紙郵送 ※利用日ごとに1部必要
由良コミュニティセンター 利用計画表	いかだ活動を行う団体 及び由良で海の活動を行う団体	金峰少年自然の家	メール、FAX 持参	★28日前まで 令和8年3月4日 まで	金峰少年自然の家 ホームページより ダウンロード https://kinbow.asoviva-p.jp/ 記入例も記載
いかだ活動計画表	いかだ活動を行う団体	金峰少年自然の家	メール、FAX 持参	★28日前まで 令和8年3月4日 まで ・必要な人数の担当者をご確保してください。	
いかだレスキュー艇 依頼申請書	いかだ活動を行う団体	金峰少年自然の家	メール、FAX 持参	★28日前まで 令和8年3月4日 まで ・活動終了時にお渡しする請求書の振込先に、 一週間以内に入金をお願いします。	
「温水シャワー・海テラスゆら 磯の風緊急避難施設」 使用申請書	由良で野外炊飯、潮風テント泊を 行う団体 温水シャワーを利用する団体	金峰少年自然の家	メール、FAX 持参	★28日前まで 令和8年3月4日 まで ・温水シャワーは、当日現金払いです。	
加茂水産高漁業実習船乗船 加茂水産高校見学 加茂磯採集 申請書	加茂漁業実習船乗船を行う団体 加茂磯採集を行う団体 加茂水産高校見学を行う団体	金峰少年自然の家	メール、FAX 持参	★28日前まで 令和8年3月4日 まで	金峰QRコード 
海のゆりかご学習 申請書	海のゆりかご学習を行う団体	金峰少年自然の家	メール、FAX 持参	★28日前まで 令和8年3月4日 まで	
【学校・福祉施設等】 加茂水族館利用料金免除 申請書	加茂水族館を利用する団体	原本：加茂水族館 コピー：金峰少年自然の家	メール、FAX	コピーの提出は ★28日前まで 令和8年3月4日 まで	加茂水族館 公式ホームページより 申請してください (注意事項をよく読んで 申請してください)
【幼稚園・保育園等】 加茂水族館利用申請書				・支払いがある場合は、当日現金払いです。 ・当日利用しなくなった場合は、速やかに 加茂水族館へ連絡してください。	
鶴岡市クリーン作戦 実施計画書	海岸清掃ボランティアを 実施する団体	①鶴岡市環境政策課 ※持参、FAX可 ②自然の家	メール、FAX	★5日前まで 令和8年3月27日 まで ・提出先①、②のどちらにも計画書を送付して ください。	鶴岡市の ホームページより ダウンロード ※「鶴岡市クリーン作戦」で 検索可
鶴岡市クリーン作戦 実施報告書		①鶴岡市環境政策課 ※持参、FAX可 ②自然の家	メール、FAX	★実施後5日以内 令和8年4月6日 まで ・提出先①、②のどちらにも報告書を送付して ください。	
栽培漁業センター見学(三瀬)	栽培漁業センター見学を行う団体	栽培漁業センター(0235-73-3763)に、直接問い合わせをお願いします。			

＜R 8 利用料金について＞

施設・活動名	対象	料金	支払い方法 ※備考
由良コミュニティーセンター	鶴岡市内の教育機関（※1）及び関係団体（※2）	全額免除	/
	鶴岡市外の教育機関（※1）及び関係団体（※2）	有料	
	※1…幼稚園、保育園、認定こども園、小・中学校、高校等 ※2…PTA、子ども会等		
由良駐車場 （由良温泉観光協会）	海開き中に駐車をする場合、料金がかかります。	乗用車：1,000円 マイクロバス：1,300円 大型：2,500円	駐車場入り口で現金払い
いかだづくり レスキュー艇料金 ※令和6年度より 料金改定	○基本料金2,000円＋1回あたり4,000円 例：出航回数が8回の場合 →2,000円＋4,000円×8回＝34,000円 ※組み立て艇数ではなく、出航回数でカウントする。		①現地で請求書を受け取る。 ②後日、指定口座に振り込む。 ③振込証を領収証とする。
温水シャワー （海テラスゆら磯の風内）	中学生以下 大人（高校生以上）	1名 200円 1名 350円	温水シャワー受付（海テラス内）で現金払い
緊急避難場所使用 （海テラスゆら磯の風内）	由良でテント泊や野外炊飯を実施するすべての団体	1名 100円	自然の家へ支払い （当日現金、後日現金、振込）
ゆら海洋釣堀 ※4/18～10/18 ※9:00～17:00 ※土・日・祝日のみ ※GW、海水浴開設期間 は休まず営業	中学生以下（エサ付き）	1名 700円	釣堀窓口で現金払い ※付属のエサは、オキアミとなります。 ※その他のエサは、別売で販売しております。左表の通り。
	高校生以上（エサ付き）	1名 1,300円	
	見学のみ	1名 100円	
	別売りエサ オキアミ 青イソメ	300円 350円	
	氷	200円	
磯釣り・堤防釣り （釣堀から貸し出し）	※仕掛けの一例（小アジ狙いの場合） 釣り竿1本、針、おもり、糸、はさみ、針外し、バケツ、えさ（疑似針） +コマセ	1セット 2,000円（最高20セットまで） 団体が、由良海洋釣堀（73-2666）に直接電話をして、貸し出し予約を行う。以下の内容を伝える。【日時、団体名、希望する釣り道具のセット数】（その時期釣れる魚に合わせて釣堀職員が仕掛け+餌を用意する。すぐに使える状態。）自然の家よりライフジャケットを貸し出します。	
潮風クラフト	貝殻クラフト	1名 40円	自然の家へ支払い （当日現金、後日現金、振込）
	ルームボード	1名 160円	
	フォトフレーム	1名 130円	
サンドアート	サンドアート	無料	
ボンファイヤー	ボンファイヤー薪代	1名 80円	
海のゆりかご学習		無料	
加茂水族館見学	幼児	無料	※その他の減免制度あり。 ※小中学校の学校行事での利用は無料（要事前申請） ※水族館に団体が直接支払う。 ※詳しくは水族館の公式ホームページでご確認ください。
	小・中学生 （団体割引）	1名 500円 （450円）	
	一般 （団体割引）	1名 1,500円 （1,350円）	
学習会 （クラゲ・海ごみ・食育）	料金……学校団体等は無料（要事前の入館料減免申請） ※水族館の公式ホームページでご確認ください。		料金の詳細については団体が直接、水族館へ問い合わせる。
加茂水産高校	漁業実習船乗船（定員10名）	1団体 1,000円	加茂水産高校職員へ現金払い
	高校見学	無料	
	磯採集	無料	
栽培漁業センター見学		無料	

由良コミュニティセンターについて

① 料金の判断について

利用団体が申請書を自然の家へ郵送か持参で提出 → 自然の家は申請書の内容を確認後、由良コミュニティセンターと調整を行った後に、原本を由良コミュニティセンターへ送付する。
 → 由良コミュニティセンターは有料/無料を判断。
 → 審査結果（使用許可書）が由良コミュニティセンターから団体へ郵送される。

② 部屋の仕様・使い方・有料時の料金

◇原則として、利用できる場所は「大ホール」「トイレ」「大ホールとトイレの間の廊下」のみとなります。

部屋名	・仕様、使い方 ※留意点	料金（市外団体のみ）	
		8:30～12:00	12:00～17:00
大ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホール用の裏口があります。<u>活動中は裏口が閉まっているか確認しながらご利用ください。</u> ・フローリングです。 ・衝立とブルーシートで2室に区切った所で、着替えを行うように利用していただきます。 ・水に弱いので、濡れたらすぐに拭いてください。 	2,800円	4,400円

※会議室（第1・第2）、和室研修室（第1・第2）は必要に応じて研修担当へ相談してください。

※夏季の冷房使用は、利用申請書に使用の旨を記載した上で、ご使用ください。事前申請無しでは使用できません。（鶴岡市内の教育機関及び関係団体は、利用料金減免措置により無料になる場合があります。

鶴岡市外の教育機関及び関係団体は、減免対象ではなく有料になります。）

※10月1日より料金の変更があります。ご確認ください。

③ 利用上の留意点

- ・利用の際、「由良コミセン使用許可申請書」と「由良コミセン利用計画表」を自然の家へ提出し、計画表に沿って利用します。
- ・早く到着しても、所員が裏口を開錠するまで、裏口でお待ちください。
- ・コミセン利用に係るチェック表をお渡しします。その内容をご確認いただき、ルール・マナーを守ったご利用をお願いします。
- ・大ホールの裏口玄関にある足ふきタオルでしっかり足をふき、出入りしてください。
- ・引率者は、チェック表をもとに利用場所の点検を終えた後、正面玄関もしくは事務室内にある「使用日誌」を記入し、退館してください。
- ・コミセン利用について質問がある場合は、自然の家で用意したトランシーバーで所員に連絡ください。

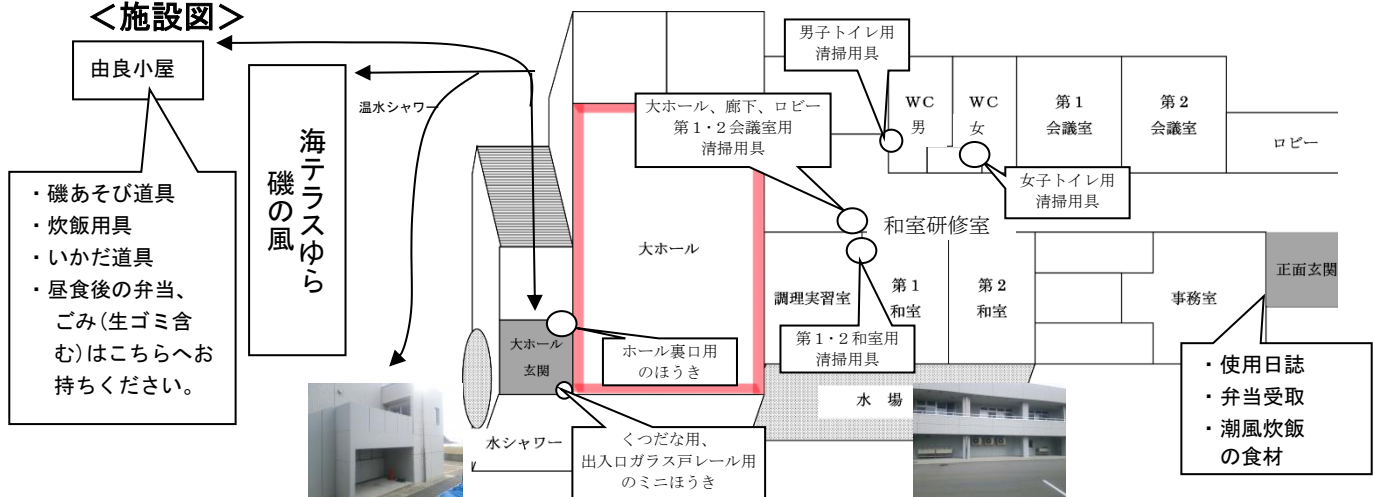
④ 掃除について

- ・利用した部屋（大ホールなど）、トイレ（トイレ前廊下含む）、大ホール裏口は、備え付けの清掃用具で掃除をしてください。
- ・大ホールの裏口玄関の靴棚の中も、金峰の職員が当日に貸し出すミニホウキで掃除してください。

⑤ お弁当、食材について

- ・弁当と炊飯の食材は、正面玄関にある自然の家の台車に届きます。
届いた際にトランシーバーにて団体へ連絡が入りますが、受け取り担当の方は下記の時間になりましたら、受け取りにってください。 **弁当・・・11:30**、**炊飯食材・・・昼11:00 夜・翌朝16:00**
- ・弁当や食材を受け取った後の管理については、団体で責任を持って管理するようお願いいたします。
- ・弁当の空箱や段ボール、ゴミ等は、由良小屋前にいる金峰の職員にお渡しください。玄関前に戻さないようにご注意ください。また、自前で注文弁当を用意した場合ゴミは団体でお持ち帰りください。

<施設図>



海テラス ゆら磯の風について

由良自治会活性化委員会が運営する施設の一部を、自然の家を利用する団体の活動のために利用させて頂いています。営業時間(10:00~16:30)は一般のお客さんも利用します。公共のマナーを守るなど、施設への配慮をお願いいたします。

施設名	留意点 など
温水シャワー (1階) ・男子シャワー 4室 ・女子シャワー 6室	下記に記載してあります。必ずお読みください。
和室 (2階) ・約36畳	・仕切りはありません。 ・利用方法については、由良海活動 指導者研修会でお知らせします。
トイレ ・1階 男女各1室 ・2階 洋式1室	・使用后、備え付けの清掃用具で清掃をお願いします。

【施設利用上の留意点】

- 1 利用後は、使った部屋、使った用具、階段、トイレの清掃や整頓をしてください。
- 2 施設内にある、使用しない物品には、手をふれないようにご指導ください。
- 3 17:00~翌朝9:00の時間帯は、鍵の管理をお願いします。
わずかな時間でも施設を空ける時は、必ず施錠をしてください。

温水シャワーについて (海テラスゆら磯の風 内)

【利用可能時間・人数】 ※利用料金については、料金表でご確認ください。(4ページ参照)

- ・10時00分~16時30分
- ・シャワー室数 男子4室 女子6室
(一度に入ることができる人数が限られているので、計画的に進めてください。)

【利用の仕方】

- 1 コミセンの水シャワーで、手足(身体)の砂を洗い落としてから入館する。
- 2 団体引率者が先導し、海テラス管理の職員に使用開始のあいさつをする。
- 3 当日の受付の際に、団体引率者が現金で使用料を支払う。(領収書を受け取る)

【利用上の注意点】

- ・いかなる中止以外の理由で、利用当日のキャンセルはできません。(人数変更は可)
キャンセルの場合は、利用日前日の15:00までに自然の家へお電話ください。
- ・児童・生徒が使用する際は、必ず、団体引率者がついてシャワーの使用についての指導をしてください。
- ・シャンプー・リンス・ボディソープの使用はできません。
- ・団体引率者は、シャワー室外で、順番待ちの児童・生徒管理をお願いします。
- ・温水シャワー使用后、団体引率者は備え付けの清掃用具で清掃をお願いします。

由良小屋（プレハブ）

野外炊飯・潮風テント泊・いかだ活動の資材の保管場所として、
自然の家で設置しているプレハブ小屋です。

小屋においてある物品（○＝常時 □活動に応じて）

○テーブル	○いかだ活動用具	○ライフジャケット	○たも	○箱めがね	
○移植べら	○着替え用ブルーシート	○毛布			
□銀マット	□ハンマー	□テント本体	□テントポール	□砂浜用ペグ	□シュラフ
□シュラフシート	□ボンファイヤー用薪	□灰捨て缶	□ガスコンロ	□たき火台	
□炊飯用具	□ゴミ袋	□火ばさみ			

※上記の物品が常にあるわけではありません。活動に必要な物品（□）を、必要なタイミングで所員が自然の家から搬入しておく形になります。

【施設利用上の留意点】

- 1 使用したものは元の場所に返却をお願いします。引率者が必ず見届けてください。
- 2 17:00～翌朝9:00の時間帯は、鍵の管理をお願いします。
わずかな時間でも小屋を空ける時は、必ず施錠をしてください。



引率者の方へ 海の事故防止についてのお願い

児童生徒・付き添い職員の事故については、引率代表者が責任をもって未然防止に努めてください。
特に、海での事故は直接生命にかかわりますので、十分な活動の管理をお願いします。また、由良地区は観光地のため、人の出入りも多いことから、昼夜問わず、防犯にも十分に注意してください。

1 海の事故防止について

- (1) 児童生徒の疲労度を考慮し、ゆとりをもって活動してください。
- (2) いかだ活動では安全確保のため、以下の点をお願いいたします。
 - ① 年2回開催される「由良海・いかだ活動研修会」に必ずご参加ください。
(参加できない場合は、活動プログラムに入れることはできません)
 - ② 事前研修会で得た情報は、他の引率者にも事前に伝えてください。
 - ③ 別紙「いかだ活動計画表」を記入し、28日前までに提出してください。
 - ④ 「いかだ活動計画表」の役割分担に従い、活動の支援を行ってください。
- (3) 天気や波の様子を十分に観察し、必ずライフジャケットを着用した上で、無理せず活動してください。
- (4) 砂浜にはガラスの破片や金物などの危険物が混じっていることがあります。また、岩場では岩がぐらついたり、濡れて滑りやすくなったりしていることがあります。必ず、かかたが固定される履物を履いて活動してください。
- (5) 例年6～7月に、カギノテクラゲやシロガヤが、藻場や岩の近くで見られることがあります。
刺されると激しい痛みと全身症状（吐き気・頭痛・けいれん等）を引き起こし、医療機関の受診が必要になります。
白山橋付近や人工ビーチにも藻場があります。
危険ですので近づかないでください。
症状がある時は、速やかに医療機関を受診してください。
- (6) 由良での「いかだづくり」・加茂での「漁業実習船乗船」といった、沖に出る活動では、職員の指示に従い、危険のないように細心の注意を払ってください。
- (7) 由良の白山島にある白山神社の階段は、幅が狭く急傾斜になっています。上り下りには十分気をつけてください。リュック等を背負った状態で登ることは危険ですのでおやめください。
肩掛けの水筒のみであれば可能です。

カギノテクラゲ



シロガヤ



2 その他事故防止について

- (1) 夏の高温期には、熱中症に対する十分な対策をしてください。こまめな水分補給、帽子の着用などの指導をお願いします。日よけのテントを準備するなど有効です。
- (2) 海岸付近で弁当を広げると、飛んでいるトンビに襲われる可能性があります。怪我防止のため、人工ビーチ近くの東屋、コミセン裏またはコミセン屋内で食べるなどして、十分に気をつけてください。

緊急・災害時の避難と体制

1 けが・急病などの緊急対応

- (1) 医療機関の受診が必要な場合は、次ページ一覧を参照してください。(保険証持参)
- (2) 医療機関にかかる時には、必ず自然の家職員にも連絡してください。近くに職員がいない場合は、昼夜を問わず、自然の家(下記)にご連絡ください。
- (3) 防犯関係の連絡は、鶴岡警察署、豊浦駐在所、自然の家(下記)に昼夜を問わず連絡してください。

金峰少年自然の家連絡先 0235-24-2400 0235-24-2401

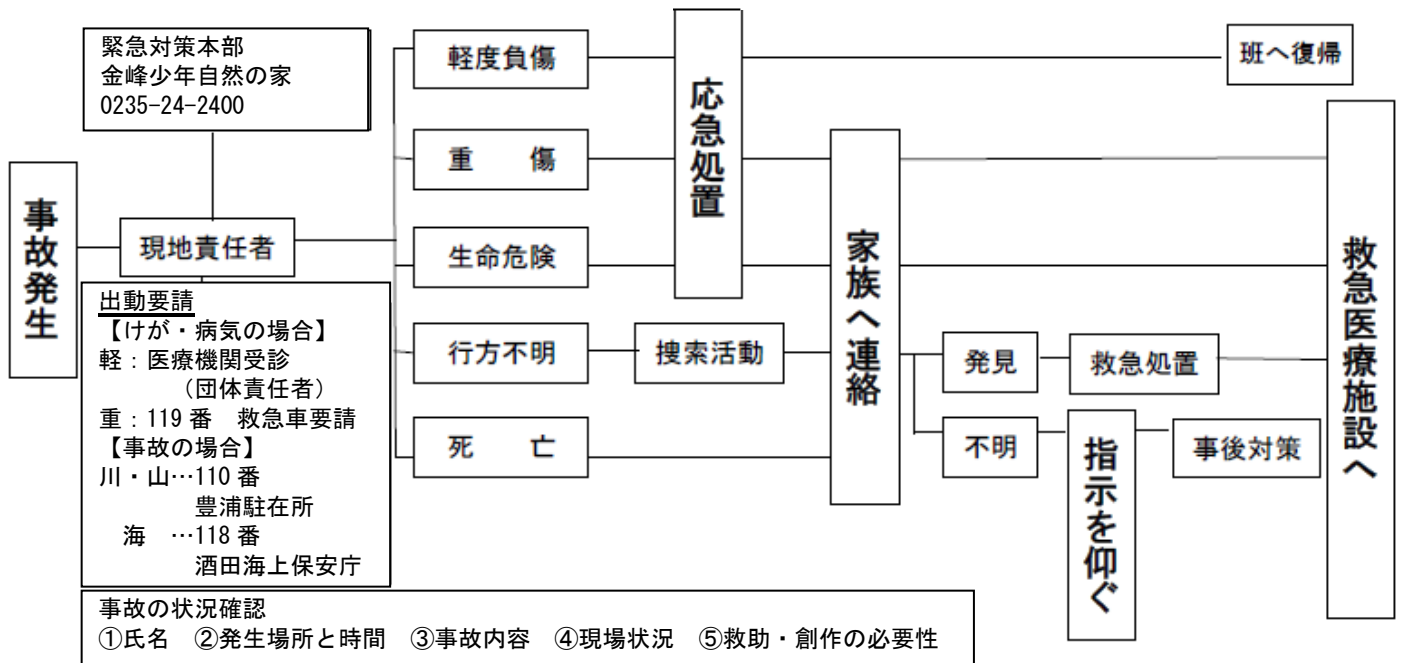
2 地震・津波などの災害対応

- (1) 地震発生時は、津波が起こる可能性もあります。情報の把握に努めるとともに、地区内防災放送等に従い、落ち着いて避難してください。
- (2) 避難場所は、各地区に数カ所あります。事前に位置を確認しておいてください。
- (3) 由良の避難場所については、P.1「エリアマップ」を参照の上、1次避難場所から2次避難所へと落ち着いて避難してください。

3 緊急事態時の体制

緊急時の事故処理体制

※事故の経過や復帰方法などは、指定管理者が窓口になり、現地責任者と連絡をとる



- 救急車・火事 119 ●警察 110 ●海の事故 118
- 鶴岡警察署 0235-28-0110 ●豊浦駐在所(三瀬) 0235-73-2019
- 酒田海上保安部 0234-23-4999

4 AEDの設置場所 ※P.1 エリアマップ参照

- (1) 由良コミセン 0235-73-2905 由良二丁目 14-53 ※平日 8:30~17:00 のみ使用可
- (2) ホテル八乙女 0235-73-3811 由良三丁目 16-31 ※平日夜間・土日も、ホトルで使用していない場合使用可
フロントへお電話ください。

医療機関一覧

受診前に、医療機関に問い合わせをしてください。自然の家職員にもご連絡ください。

エリア	病院・医院名	診療科	電話番号 0235	診療時間等	住所
鶴岡市	平日夜間・休日診療所 (初期の応急医療)	内科 小児科	23-5678 (事前に電話が必要)	平日夜間(月、土のみ): 19:00~21:30 日・祝: 9:00~12:00 13:30~17:00 (12~3月のみ) 18:00~21:00 (連絡は、終了時刻30分前まで)	泉町5-30 総合保健福祉センター 「にこ♥ふる」
	宝田整形外科クリニック	整形外科	0120 915-608 (29-1088)	8:30~12:00 15:00~19:00 水曜・土曜・日曜は午前のみ 〔休診〕年末年始・お盆・祝日	宝田1-9-80
	今立小児科医院	小児科	24-3377 (事前に電話が必要)	9:00~11:15 14:30~16:00 16:00~17:15 〔休診〕水の午後・第2,4土の午後、 日・祝	鳥居町2-30
	木根渕医院	皮膚科	22-0308	9:00~12:00 15:00~17:30 土曜午後は14:00~16:30 〔休診〕水・日・祝	本町1-6-34
	鶴岡市立荘内病院 (重症の場合のみ)	救急	26-5111		泉町4-20
三川町	みかわキッズクリニック	小児科	35-0666	平日9:00~12:00 15:00~19:00 土日9:00~12:00 13:30~17:00 〔休診〕火・水午前・祝	三川町猪子字大堰端 379-7

海活動の関係機関

問い合わせる場合は、事前に自然の家職員に相談ください。

エリア	施設・活動	連絡先	電話番号・FAX
由良	由良コミュニティセンター	由良自治会	(0235) 73-2905
	海テラスゆら磯の風 温水シャワー	海テラスゆら磯の風	(0235) 64-8331
	駐車場(海水浴期間中)	由良観光協会	(0235) 73-2250
	ゆら海洋釣堀	ゆら海洋釣堀	(0235) 73-2666
加茂	加茂水族館 見学 学習会(クラゲ・海ごみ・食育)	加茂水族館	(0235) 33-3036
	加茂水産高等学校見学 漁業実習船乗船 加茂磯採集	山形県立加茂水産高等学校	(0235) 33-3116 FAX 33-0465
三瀬	県栽培漁業センター見学	県栽培漁業センター	(0235) 73-3763

鶴岡市津波災害避難地図

津波ハザードマップ 由良地区

この地区で予測される津波は

- ▶最大津波高さ **12.7m**
- ▶津波第一波到達時間 **9分**

我が家の避難メモ

自宅
海拔 m

避難場所

避難経路

緊急時の
連絡先

津波の史実

天保4年10月26日(1833年12月7日)に庄内沖で発生した地震により、この地区では津波が発生し、多数の家屋等の流出があったとされています。

津波に対する心得

1. 強い地震(震度4以上)を感じたとき、又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸から離れ、急いで安全な高い場所に避難しましょう。
2. 地震を感じなくても、津波警報や津波注意報が発表されたときは直ちに海岸から離れ、急いで安全な場所に避難しましょう。
3. 防災無線放送・ラジオ・テレビ等を通じて正しい情報を入手しましょう。
4. 事前に避難場所や避難施設・避難経路を確認しておきましょう。
5. 日頃から避難経路の危険な場所を確認しておきましょう。
6. 津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意報解除まで気をゆるめないようにしましょう。

緊急避難の場合は、この階段の頂上に向かって登る

由良地区中心部は家屋が密集しており避難路はなるべく広い道を通ること!!

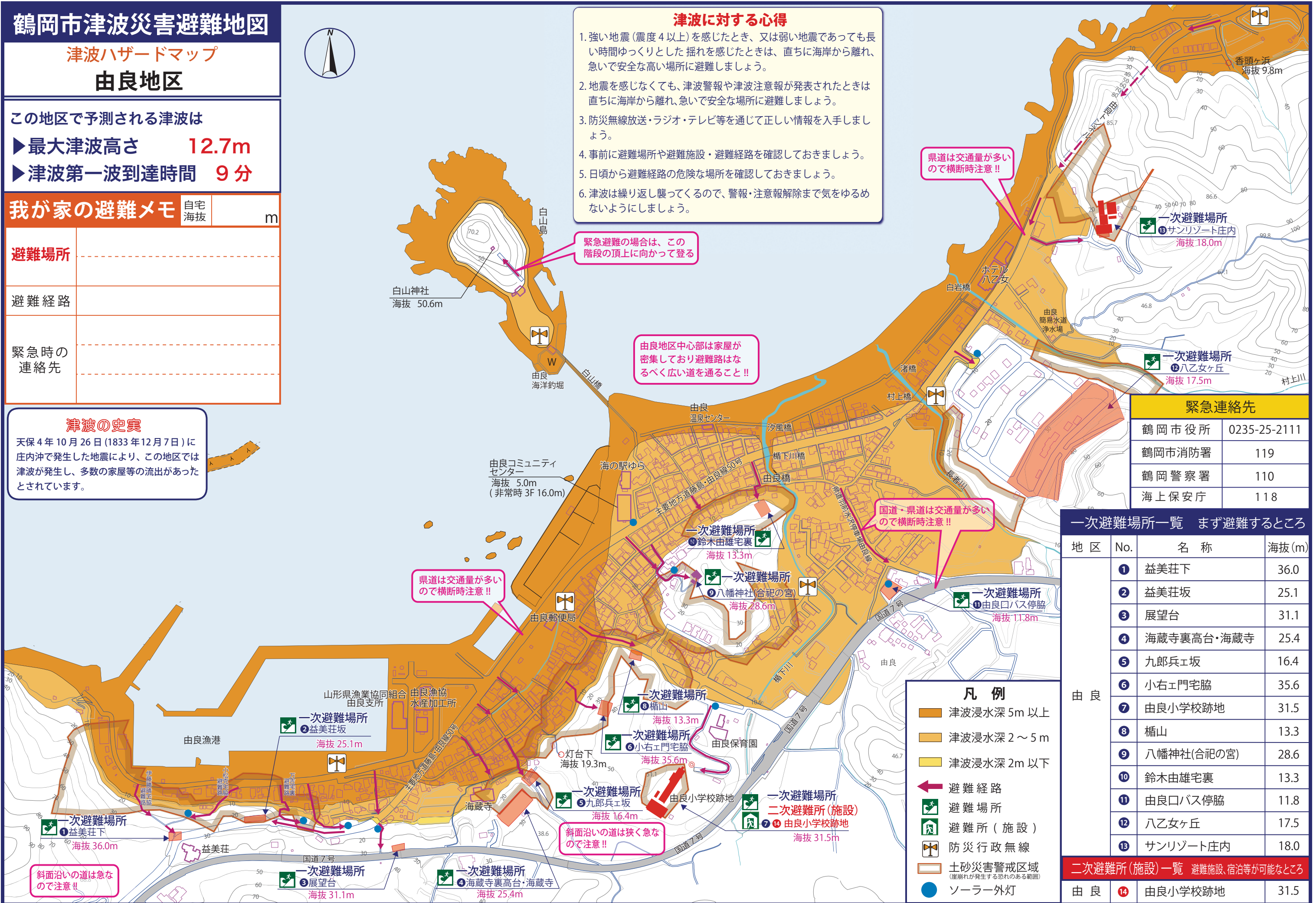
県道は交通量が多いので横断時注意!!

国道・県道は交通量が多いので横断時注意!!

県道は交通量が多いので横断時注意!!

斜面沿いの道は狭く急なので注意!!

斜面沿いの道は急なので注意!!



緊急連絡先

鶴岡市役所	0235-25-2111
鶴岡市消防署	119
鶴岡警察署	110
海上保安庁	118

一次避難場所一覧 まず避難するところ

地区	No.	名称	海拔(m)
由良	1	益美荘下	36.0
	2	益美荘坂	25.1
	3	展望台	31.1
	4	海蔵寺裏高台・海蔵寺	25.4
	5	九郎兵エ坂	16.4
	6	小右エ門宅脇	35.6
	7	由良小学校跡地	31.5
	8	楯山	13.3
	9	八幡神社(合祀の宮)	28.6
	10	鈴木由雄宅裏	13.3
	11	由良口バス停脇	11.8
	12	八乙女ヶ丘	17.5
	13	サンリゾート庄内	18.0

二次避難所(施設)一覧 避難施設、宿泊等が可能ところ

由良	14	由良小学校跡地	31.5
----	----	---------	------

凡例

- 津波浸水深5m以上
- 津波浸水深2~5m
- 津波浸水深2m以下
- 避難経路
- 避難場所
- 避難所(施設)
- 防災行政無線
- 土砂災害警戒区域(崖崩れが発生する恐れのある範囲)
- ソーラー外灯

大きな揺れを感じたら、ただちに命を守る行動をとって下さい。
この地図は山形県が平成28年3月に公表した「山形県津波浸水予想図」に基づいて作成しました。

活動一覽

活動場所	最初のページ	アクティビティ名	活動のねらい・テーマ				職員の支援				
			自然を楽しむ	自然に興味や関心を高める	仲間との触れ合い、協調を図る	挑戦し、達成感を味わう	依頼	説明依頼	自主活動	引率者の事前研修 すると良い○ 必須●	外部講師等依頼
由良	14	いかだづくり (6/2~7/14の午前中のみ) ※6月の土日は不可。	◎	◎	◎	◎	○	/	/	●	/
	18	加茂~由良シーサイドウォーク	◎	◎	◎	◎	/	事前	○	○	/
	20	潮風テント泊 (6/2~9/3)	/	○	◎	○	/	○	○	○	/
	24	潮風野外炊飯 (6/2~9/3)	/	/	◎	○	/	○	○	○	/
	25	海のゆりかご学習 (平日午後のみ)	◎	◎	/	/	/	/	/	/	○
	26	磯遊び・カニ釣り	◎	○	/	/	/	/	○	○	/
	27	白山島散策	◎	◎	/	/	/	/	○	○	/
		海岸散策・ビーチコーミング	◎	◎	/	/	/	/	○	○	/
	28	磯釣り・堤防釣り	◎	◎	/	○	/	/	○	○	/
		釣堀 ※利用可能期間は4ページを参照	○	○	/	○	/	支援	○	○	/
	30	夜の生き物観察	◎	◎	/	/	/	/	○	○	/
		海岸清掃ボランティア	/	◎	○	○	/	/	○	○	/
	31	サンドアート	◎	/	◎	/	/	/	○	○	/
	32	ボンファイヤー	◎	/	◎	/	/	事前	○	○	/
33	海水浴	◎	○	/	/	/	/	○	○	/	
34	潮風クラフト	/	◎	/	○	/	○	○	○	/	
加茂	35	加茂水族館・学習会(クラゲ・海ごみ・食育)	◎	○	/	/	/	/	○	/	○
	36	漁業実習船乗船 加茂磯採集・加茂水産高校見学 (平日のみ)	○	◎	/	/	/	支援	○	/	○
三瀬	38	栽培漁業センター見学 (平日午後のみ)	/	◎	/	/	/	○	/	○	

海活動全般に関わる留意点を、13ページに記載しております。
活動を予定している団体は必ずお読みください。

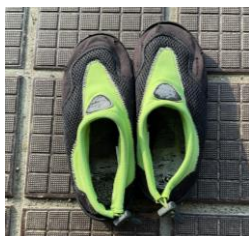
海活動全般に関わる留意事項

○海活動中の履物について

- ・海活動中は、かかとが固定される履物を履いてください。
- ・砂浜の中の小石やガラス等でけがをしないよう、履物を履いたまま活動を行います。
- ・海水浴やいかだ航海などで海の中に入る時も、履物を履いたまま活動を行います。

【履物の例】

○適した履物



スイムシューズ



バックルのついたクロックス



外靴

×適さない履物



サンダル



バックルのついていないクロックス

○熱中症予防について

- ・必ず、飲み物、帽子、汗拭きタオルを持参してください。
- ・直射日光を避けるため、水着の上にTシャツやラッシュガードを着ることをおすすめします。
- ・熱中症や日よけ避難場として、テントやタープなどを団体で持参し、設置することをおすすめします。
- ・自然の家でも簡易テント1張の準備があります。
利用希望の団体は、研修担当までご相談ください。



仲間づくりアクティビティ

いかだづくり



由良海岸でいかだを組み立て、大海原を航海するダイナミックなアクティビティです。いかだの組み立て活動やいかだ航海を通して、仲間との一体感や協力することの大切さを味わうことができ、チームワークも高まる活動です。

1 ねらいとして考えられるもの

- ・いかだを組む、操作するなどのグループワークを通して、仲間との交流を深めるとともに、協力することの大切さを学ぶ。
- ・海の波、風等の自然と触れ合い、自然に対する感性を養う。

2 活動場所

- ・由良海水浴場（白山橋北側の砂浜）

3 いかだ研修会への参加と提出書類について（別ページ参照）

- ・実施団体は、必ず「いかだ研修会」へ参加してください。
（参加できない場合は、いかだ活動を活動プログラムに入れることはできません）
- ・「由良コミセン使用許可申請書（3部複写式）」「由良コミセン利用計画表」「いかだ活動計画表」「いかだレスキュー艇依頼申請書」を提出してください。（当日は、いかだ活動計画表に従って活動の支援をお願いします）

4 いかだ可能期間・活動の所要時間・料金の支払い

- ・実施期間 … 12ページ参照
- ・活動時間 … 午前中に開始し、昼過ぎに終了
- ・3時間～4時間程度。（準備～説明～組み立て～航海～片付け）
- ・レスキュー艇料金の支払いについては、活動終了後に請求書を受け取り、後日、レスキュー艇船長の口座に速やか（1週間以内）に振り込む。その際の振込証を領収証とする。

5 必要な道具

<自然の家で準備するもの>

いかだ資材一式

- ・長い竹3本×2セット
- ・短い竹4本×1セット
- ・穴あきの板4枚
- ・白いひも24本
- ・ロープ12本
- ・ブイ6個
- ・オール人数分
- ・ライフジャケット人数分

<各自準備するもの>

- ・水着（引率者も全員着用）
- ・かかとが固定される履物
- ・水着の上に着る服
- ・ぼうし
- ・タオル
- ・飲み物
- ・着替え
- ・小さなバッグ（タオル・飲み物・バスタオルを入れて）
- ・温水シャワーを使う場合は着替え（袋などに入れて）

※熱中症予防として、休憩用のテントが用意できると良いです。

6 いかだについて



1艇8～10名が妥当な人数。

（原則、引率者は乗船しない）

4年生以下や人数が少ない場合は、作成時に大人のサポートが必要です。

大人と一緒にないと乗れない児童等がいる場合は、その旨をいかだレスキュー艇依頼申請書に記入してお知らせください。

安全確保のため、**団体引率者から活動補助をお願いします。**

別紙「いかだ活動計画表」に役割分担を記入し、提出してください。

7班以上は、2つの班で協力して1艇を組み上げて、1班ごと航海を行います。

（例）8班を2班ずつ、4つのグループにする。

2班で協力しながら1艇のいかだを組む。合計で4艇。

航海は1班ごとに行い、1艇を2班（前半・後半）で使用。

4艇×2回で計8班となります。

- ・1艇につき、最大定員10名
- ・現有資材数 … 6艇

7 到着～いかだ作り～後片付けまでの流れ

1	到着	由良コミセンに入り、荷物を置く。水着に着替える。 (水着を着てくると、時間を短縮することができます)
2	集合	各自の小さなバッグは浜の階段に置き、由良小屋前に集合する。
3	説明	いかだに必要な資材について職員の説明を聞く。(オリエンテーション①)
4	運搬	班ごとに分担して、いかだの資材を砂浜まで運搬する。
5	組み立て	組み立て方について職員の説明を聞く。 →班ごとに組み立てる。(3段階程度に工程を区切りながら説明します)
6	航海準備	いかだが完成したら、漕ぎ方の説明と諸注意を聞く。(オリエンテーション②) ライフジャケットを正しく着用する。 <u>眼鏡や帽子は海上で落とすとしても拾いに行くことができないため、とれないようにバンドをつけるなどする。または、外した状態でいかだに乗るようにする。</u>
7	航海	レスキュー艇で沖まで引っ張ってもらい、岸に向かって漕ぐ。
8	引き上げ	いかだを引き上げ、浜に到着後、人員確認。
9	解体・運搬	いかだ解体(解体→数量の確認→由良小屋前まで運ぶ)
10	水洗い・片付け	小屋前で資材一式を水洗いし、返却場所に置く。 水シャワーで身体とライフジャケットを洗う。 ライフジャケットを小屋前に置き、着替え場所または温水シャワーに向かう。

8 活動計画例

〔計画例〕	
9:15	由良到着、由良コミセンに移動
9:25	着がえ
9:45	所員紹介・説明(由良小屋前) いかだづくり
11:30	航海準備
11:45	航海
12:30	航海終了、片付け
13:00	シャワー

〔計画にあたって〕

- ※ 天気状況等により、活動時間が延びる場合があります。昼食やいかだ後の活動にゆとりをもって計画してください。
- ※ 【引率者の人数】
いかだ4艇以下…引率者3名以上
いかだ5艇以上…引率者4名以上
温水シャワーを利用の場合は、どちらも5名以上。

9 いかだ活動の対象年齢について

・小学4年生以上

子どもだけでいかだに乗ります(原則、大人は同乗しません)。沖の方へ航海に行くことができます。

・小学3年生

大人と一緒にペアになり、いかだに乗ることができます。沖の方へ航海に行くこともできます。

・未就学児～小学2年生まで

※沖に出て航海をするいかだが無い場合、料金は基本料金(2,000円)のみとなります。

引率者(大人の方)からいかだを組み立ててもらいます。

大人と一緒にペアになり、いかだに乗ることができます。ただし、沖の方へ航海に行くことはできません。

いかだに乗らない大人たちの手で浅瀬にいかだを出し、オールをこいで5mほど移動する体験は可能です。(ただし、当日の波や風の状況では実施できない場合もあります。)

※子ども以上に大人の人数が必要になります。

10 活動時間の設定について（昼食をとるタイミング）

（1）班の数と同数のいかだを作り、航海をする場合（1回転）

- すべての班の航海が終わり、片付け（水シャワー・着替えも含む）が終了してから昼食となります。食べ始める時刻が13時頃になる場合もあります。※航海の開始を早めるため、事前にいかだに乗る座席を決めておくことをおすすめします。

（2）班の数より少ない数のいかだを作り、航海をする場合（2回転）

- 1航海あたりの時間を若干短くします。2回転目の班の人は、いかだが戻り次第、すぐに出航できるよう、砂浜で待機します。（このタイミングで昼食を食べに行くことはできません。）
- 1回転目の班の人は、砂浜に戻り次第、昼食を食べに行くことも可能です。

ただし、コミセンホールに入る前に、水シャワーで足周りの汚れを落として水気をふき取るようにしてください。昼食を食べ終えた後に砂浜へ戻り、2回転目の班の人が使った後のいかだの片付けを始めます。片付けの際に体が汚れる可能性がありますので、着替えはせずに昼食をとるようにしてください。

- 2回転目の班の人は、航海から戻り次第すぐにコミセンに向かい、昼食をとることができます。昼食を食べ終えた後にいかだの片付けやライフジャケット洗浄に加わるようになります。
- 昼食を途中にはさまず、全ての活動を終えてから昼食をとる場合、食べ始める時刻が13時30分～14時になる場合もあります。

11 安全管理上の注意点

（1）避難経路の確認

- 引率者には事前研修会、参加者には当日のオリエンテーションにて、緊急時の避難場所と避難経路を説明します。

（2）熱中症予防

- 必ず飲み物を持参してください。いかだ作りの最中にも水分補給の時間を設けます。
- 水着の上にTシャツ等を着用、帽子を着用する等、直射日光を避ける対策をしてください。
- 砂浜に日陰はありません。当日の天気を考慮して、大型テントやタープを持参し、休憩場所を設置することもご検討ください。 ※自然の家でも簡易テント1張の準備あり。（要相談）

（3）水難事故等の予防

- いかだで航海する時は、ライフジャケットを着用します。また、熱中症予防として体を冷やすために海の中へ入る時もライフジャケットを着用します。
- 砂浜の中の小石やガラスのかけら等で怪我をしないよう、かかとが固定される履物等を履いたまま活動を行います。
- いかだ作りや片付け中は、手足などに砂がついても海に入って洗いません。
- いかだ活動中は、自然の家職員・引率者の許可なく海に入りません。
- いかだを海に出す時や海から引き上げる時は、波打ち際が特に危険となるため、自然の家職員の指導のもと、引率者は参加者と共にかだを支え、素早く移動を行います。

12 その他

- 活動の途中に昼食をはさむ時など、砂浜などの活動地（荷物置き場など）を離れる場合は、活動地の管理要員を配置することをおすすめします。

いかだ活動の禁止事項について

禁止事項

- ・ 指示なく、海に近づく
- ・ 指導者の指示を無視する



約束を守れない場合は、活動を中止する場合があります。

いかだ活動 可否判断について

潮見の結果や気象情報をふまえ、いかだレスキュー艇船長の指導を受けて、自然の家職員が判断します。

中止や延期のめやす

- 1 強風・波浪・大雨・雷など、海活動にかかわる警報や注意報が出ており、いかだの航海やレスキュー艇の救助が困難な場合。または、そのような状況が予想される場合。
- 2 波の高さが1 m以上あり、いかだの航海やレスキュー艇による救助が困難な場合。
(波の高さが50 cmの時は、波打ち際などの状況を見て判断。)
- 3 雷注意報が出ていた場合は、現地の雲の状況より判断する。雷雲等が見える場合や遠雷が聞こえた場合は、実施しない。
- 4 潮見の結果から、海岸や海上の様子がいかだ活動に適していない状況の場合。

可否判断のタイミング

<実施前>

- 1 当日の朝7:30までに、いかだレスキュー艇船長が潮見を実施する。
- 2 自然の家職員がレスキュー艇船長と連絡をとり、現場の状況をもとに判断。
- 3 自然の家職員が、判断の結果を団体の引率代表者に伝える。

<実施中>

- ・ いかだを組み立て、海に出す前に、再度海の状況を見て航海の可否判断を行う。
- ・ 自然の家職員・いかだレスキュー艇船長・団体の引率代表者が現地で相談の上、決定する。



仲間づくり アクティビティ

加茂～由良シーサイドウォーク

長い道のりを自力踏破するという、シンプルながらも仲間とのはげまし合いや協力、困難を乗り越えて達成感を味わうなど、様々な「学び」の要素が含まれたアクティビティです。気力、体力が必要になりますが、仲間と一緒に一つの目標を達成することで、思い出深い体験にもなるダイナミックな活動です。

1 ねらいとして考えられるもの

- ・グループ・班での活動を通して仲間と協力することの大切さを学ぶ。
- ・潮風や波の音などを感じながら、満足感、達成感を味わう。

2 活動場所と所要時間

	通過地点	道のり	所要時間 ※小学5年生の徒歩を想定
スタート	加茂レインボービーチ（駐車場）	0km	約1時間
トイレ休憩	油戸漁港の公衆トイレ	3.1km	
ゴール	由良海水浴場（由良コミセン）	6.7km	約2.5時間～3時間

※スタートとゴールの場所を逆に設定しても実施できます。

一般道で安全に活動するためにも、必ず引率指導者の事前踏査・下見の実施をしてください。

3 服装・持ち物

- ・服装
 - 野外を歩くのに適した服装
 - 帽子
 - 天気によっては雨具・長靴
- ・持ち物
 - 水筒
 - 汗ふきタオル
 - リュックサック（必要に応じて、行動食、水筒を入れて）
- ・引率指導者の持ち物として
 - 救急医薬品セット
 - ハチジェットなど
 - 横断旗（状況や実態によって必要数）

4 活動の進め方の例

●配慮事項 ■引率・指導者の動き

(0) 出発前の準備（服装・持ち物）

(1) 集合

■人数・健康状況・服装・装備の確認

(2) ルートについて説明。

説明内容の例

①隊列の確認

②ルート・行程の確認

※長い行程になるのでおおまかな説明にするか、または、事前に時間をとって説明。

※行程の説明についてはルートを参考に。

●期待感・目標を持ちながら活動できるような話を加えるとよい。

(3) 活動中の注意事項について話をする。

注意事項

◆転んだときのことを考えて、両手はあけて（何も持たず）歩く。

◆ゴミは必ず持ち帰る。

◆一般道を歩くので交通には十分注意。

◆体調の異変を感じたときにはすぐに申し出ること。◆歩道からはみ出て歩くようなことはしない。

◆車道を横切る時の約束など（引率者の指示に従いながら、素早く車に気をつけて渡る）

◆グループや班で活動する場合は、一緒に行動する。（勝手な行動はしない）

(4) 出発

●活動中の体調や安全管理に十分配慮

■引率・指導者は、先導・最後尾に配置。人数が多く隊列が長くなる場合には、中間にも配置。

■休憩中、人数、健康面、汗の始末、ゴミの処理などに気を配り、支援。

(5) 活動後のふりかえり

●ふりかえり活動の例

例) 活動しての感想や気付いたこと（仲間との関わり、がんばりなど）を発表し合う。

■気づきや発見を拾い上げ、より効果的でねらいにそった活動になるように支援。

加茂～由良シーサイドウォーク

詳細マップ

スタート (加茂レインボービーチ)
駐車場、トイレあり

- ※実施にあたっては、必ず引率者による事前の下見を行ってください。
- ※ ☆印の地点で磯に降りることができますが、磯遊びに適している安全な磯場と、適していない危険な磯場があります。磯遊びを予定する場合、事前の下見で、磯遊び実施地点の選定が必要です。
- ※「由良」をスタート地点にして、「加茂」をゴール地点に設定することも可能です。



今泉漁港
スロープを降りて漁港の中を歩くことができる

トンネル内
暗いので注意



★ポイント
ここで歩道が切れるため車道を海側へ横断する
それ以降、ゴールまでは海側の歩道を歩ける。



★ポイント
ここで歩道が切れるため車道を山側へ横断する

トンネル内
せまいので注意

油戸漁港
スロープを降りて漁港の中を歩くことができる



油戸漁港付近の歩道はせまいため注意が必要

せまいので注意

磯遊びが可能

駐車可能

海側へ降りられる

・・・トンネル

このあたりは険しい磯場であり、磯遊び・磯観察などには不向き。

油戸公衆トイレ
駐車場あり
※スタートから約1時間



香頭ヶ浜①
磯場では地層学習も可

香頭ヶ浜②
平べったい石が拾える海ごみ学習が可能

温泉八乙女の脇から砂浜側の遊歩道に出られる

必ずトンネル内を歩くこと
海側の一本道は工事のため通行不可



ゴール (由良海水浴場)
白山橋のふもとに公衆トイレあり
※スタートから約2.5～3時間





砂浜にテントを立てて生活することで、海辺キャンプならではの雰囲気を楽しむことができます。班の仲間と協力してテント設営することで、「仲間づくり」の場としても活用できます。自然を感じるだけでなく、仲間との交流の要素も含んだアクティビティです。

1 ねらいとして考えられるもの

- ・グループワークを通して、仲間との交流を深め、協力することの大切さを学ぶ。
- ・自然と触れ合い、自然に親しむ。

2 活動場所 ※1 ページのエリアマップにある②の場所

- ・テント設営場所・・・由良海水浴場（白山橋北側の砂浜）
- ・テント用具置き場・・・由良小屋
- ・荷物置き場・・・「海テラスゆら磯の風」2階和室

3 所要時間

- ・テントの準備から設営までの時間・・・40～60分程度
- ・シュラフにシーツをセットする時間・・・20分程度
- ・テント、シュラフ撤収に必要な時間・・・40分程度

4 準備するもの

<自然の家で準備するもの>

- ・テント（本体、フライシート、グランドシート、ポール）一式（～10張まで）
- ・シュラフ ・シュラフシーツ ・銀マット ・砂浜用ペグ ・ハンマー ・ライフジャケット

5 活動の進め方

<テント設営>

1	説明 配置決め	手順や資材について職員の説明を聞く。 テントの配置を決める。
2	運搬	班ごとに、テントの資材を設営場所まで運搬する。 （テント一式1、砂浜用ペグ12本、ハンマー1～2本）
3	組み立て	職員の説明を聞き、班ごとにテントを組み立てる。 ※組み立て方は、21～23ページ参照
4	テント内清掃	ほうきで砂を掃き出す。
5	シュラフセット	シュラフにシーツをセットする。 就寝時、 <u>テント内に各自のライフジャケットを置く。</u> （地震・津波対策）

<テント撤収>

0	（説明）	（テント設営時に、自然の家の職員からかたづけの説明を聞く。）
1	かたづけ	班ごとに分担して、テント資材やシュラフを撤収する。 ※作業は、階段の上で行うと砂がとれやすい。 ※シーツは軽くたたんで、由良小屋のコンテナの中へ入れる。
2	運搬	由良小屋にテント資材を返却する。
3	砂浜点検	ペグ等が落ちていないか砂浜を確認する。

6 実施判断

特に荒天が予想される場合は、海の指導員から助言を得た上で自然の家職員と団体代表者が協議し、団体代表者がテント設営の実施判断をする。

7 安全対策

- ・ 砂浜の中にガラスや漂流物など危険なものが混じっていることがあるので、かかとが固定される履物をはいて活動する。
- ・ 砂浜用ペグは砂に埋まりやすく紛失の恐れがあるので、砂にペグをさして作業する。
- ・ 観光地のため大勢の人が訪れるので、夜間の活動や外出の際は防犯に十分気をつける。
- ・ 「海テラスゆら磯の風」と「由良小屋」の施錠は忘れずに行う。

8 緊急避難施設

海テラスゆら磯の風 2階和室（使用量として100円／人を自然の家へ支払い）

9 由良小屋

由良小屋 →使用については6ページ参照



テント設営のやり方

①道具の受け取り ※ 道具の貸し出しは、職員が行います。



○ドーム型テント一式

・テント袋⇒ テント本体1つ フライシート1枚

・ポール袋⇒ 長いポール1本 短いポール 6本

※どのようにたたんでいたか覚えておくと、かたづけがスムーズです。

○砂浜用ペグ20本

※使う前にペグが20本あるか、かくにんしましょう。

○グランドシート1つ

②テントを立てる場所を決め、グランドシートをしきます。

③テント本体を広げます。



④ポールを組み立てます。



ポールの真ん中から両はじに向かって組み立てていきます。
ポールの中にはゴムが入っています。はじから組み立てたり、必要以上に強く引っぱったりすると、ゴムがのびてしまいます。

⑤長いポールに、短いポール（6本）を差し込みます。

おくまで差しこみます。



広げたテント本体に組み立てたポールを置きます。長いポールの両はじは、テント本体からはみだします。

⑥テント本体とポールをつなげます。



(1) 初めに一か所だけ（テント本体中央の一番高い場所にあたる部分）にテント本体についているフックをポールにはめます。（カチッと音がするまで）



拡大

ポールをテントの穴に入れる



(2) 次に2人1組になって、短いポールの先をテント本体のあなに差し込みます。あなは6か所あります。



次のページ



(3) テント本体の残りのフックを全部ポールにはめます。(カチッと音がするまで)

すべてのフックをはめると左の写真のようにテントがたちあがります。

⑦テントを傾けて中のごみや砂を落とします。

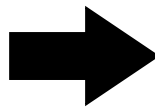


⑧テント本体をペグ（6本）で地面に固定します。



ペグをさす場所は、かた側に3か所、全部で6か所あります

⑨本体にフライシートをかぶせます。



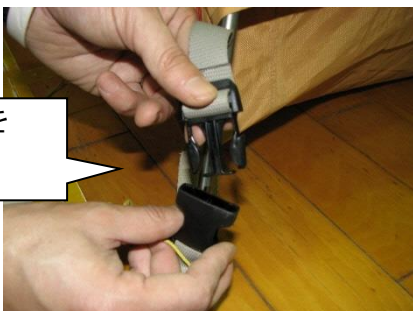
長いポールの両はじを、フライシートのマジックテープでカバーをします

⑩フライシートとテント本体つなげ、ペグで地面に固定します。

テント本体とフライシートについているバックルをカチッと はめます。ペグをうってフライシートを固定します。この時、テント本体とフライシートの間に、すき間ができるようにします。

出入り口として使わない方はペグで固定します。ポール袋をテント袋に入れます。

バックルをはめます



出入口の反対側はペグで固定します





自然の中で仲間と協力しながら作る炊飯活動の楽しさは格別です。自主性・協力・創意工夫・心と心のふれあいなど様々な面から子どもたちの感性をゆさぶり、「学び」を引き出します

1 ねらいとして考えられるもの

グループや班での活動を通して仲間と協力することの大切さを学ぶ。

2 必要な道具

<自然の家で準備する物>

- ・炊飯用具一式（1セット4人分が基本。最大5人まで。）
- ・食事材料 ・卓上カセットコンロ ・ガス
- ・液体洗剤 ・風除け用板 ・テーブル
- ・生ゴミ用バケツ ・三角コーナー、ネット ・たわし
- ・スポンジ

<団地で準備するもの>

- ・ふきん1班4枚以上（食器ふきん2枚、台ふきん2枚）



3 野外炊飯の進め方

1 食材搬入、数量確認（由良コミセン玄関）

- ・当日昼食は11:00、夕食及び翌朝の食材は、業者が16:00までに由良コミセンの玄関へ置く。
- ・利用団体が運び、数量を確認する。
- ・弁当や食材を受け取った後の管理については、団地で責任を持って管理するようお願いいたします。

2 テーブル・炊飯用具等の運搬（由良小屋前から由良コミセン外の水場前へ）

- ・ふきん、スポンジを持って由良小屋前へ集合する。
- ・班ごとに、由良小屋の中にあるテーブルや、炊飯に必要な道具を全て水場へ運ぶ。

3 オリエンテーション（水場前）

- ・炊飯用具の使い方や洗い方、食器点検について、自然の家の職員の説明を聞く。
- ・自然の家職員から水道の蛇口のハンドルを受け取る。水道口は3個あります。

4 炊飯活動（水場前）

- ・団体の自主活動で行う。
- ・引率者は、自然の家職員と後かたづけや留意点を打ち合わせる。
- ・夕食の場合、引率者は自然の家職員から由良小屋の鍵を受け取る。

5 後かたづけ、食器点検（水場前）

- ・後かたづけ完了後、自然の家職員が食器点検を行う。（夕食の場合は翌日朝食後）
- ・テーブル、炊飯用具、ゴミは全て由良小屋へ運ぶ。（夕食の場合は、食器点検前だが一旦由良小屋の中に運ぶ）
- ・テーブル等は元の場所へ戻す。ゴミ袋等は、由良小屋の床の空いている場所に置く。
- ・水場の清掃……残菜が残らないように点検。
- ・ゴミの分別……燃やすゴミ → 鶴岡市指定のゴミ袋
生ゴミ → 生ゴミバケツ

※夕食の場合、炊飯用具やゴミ袋を全て由良小屋へ運んだら、由良小屋に鍵をかける。

4 荒天時

荒天時、屋外で炊飯活動ができない場合は、「海テラスゆら磯の風」の2階和室で活動を行う。

- ・長机の上に卓上ガスコンロを置いて調理を行います。
- ・水をくむ場合は、海テラス2階を使います。
- ・食材くずの処理、清掃や整頓を徹底してください。
- ・昼食の場合は、本館でのガス炊飯に変更することも可能です。



庄内浜の海産物の収量を安定させるために、水産生物の棲みやすい環境を整える活動（海のゆりかごをつくる活動と呼ばれています）が進められています。漁業者と水産技術振興センターの方から藻場保全についての講話を聞いて学んだ後、実際に磯場へ足を運んで実物を見ながらさらに学びを深めます。普段できない、触れることのできない学習活動が可能です。

1 ねらいとして考えられるもの

- ・ 自然に触れ、自然に親しむ。
- ・ 現在日本海で発生している問題や、海の生き物等への興味や関心を高める。

2 活動場所

由良コミセン、由良人工ビーチの磯場

3 所要時間と人数・準備するもの

- 【時間】 1時間程度
- ※ 原則として、土日は実施不可。
 - ※ 実施可能期間は、5月～9月。
 - ※ 実施可能時間は、13:30～15:30の間で、60～90分程度。
 - ※ 平日でも、担当者の都合でできない場合もある。
 - ※ 雨天時・荒天時は、屋内のみの学習であれば実施可能。

【人数】 10～100名程度

【個人で準備するもの】 ※無料で実施できます。（講師料等がかかりません）

- ・ 人工ビーチで水に浸かる体験を希望しない場合
 - 筆記用具 ※天候に合わせて（□水筒、□帽子）
- ・ 人工ビーチで水に浸かる体験を希望する場合
 - 上の2つ □水にぬれてもよい服装（長ズボン推奨）
 - バックベルト付きサンダル、または、マリンシューズ
 - 軍手

【自然の家で準備するもの】

- ライフジャケット □たも □ザル □バケツ

【ご利用の流れ】

- ①本プログラムの実施を希望する団体から、自然の家へ連絡が入る。（日時・人数などを聞き取る）
- ②水産技術振興センターの担当者と自然の家が連絡を取り合い、当日の活動実施の可否について検討する。
- ③自然の家は、検討結果について団体へお知らせする。（可能となった場合、各種申請書類の作成と、自然の家への提出を依頼する）
- ④自然の家は、届いた書類を水産技術振興センターへ送付する。
- ⑤必要に応じて水産技術振興センターの担当者と団体の担当者が電話などで打ち合わせを行う。



4 活動の進め方とおよその所要時間

- ① 由良コミセンの中で（大ホールまたは会議室など）講話を受ける。（20～30分）
- ② 自然の家から上記の道具を受け取った後、人工ビーチ（磯場）に移動し、安全に気をつけながら採集・観察を行う。（30～60分）
- ③ 人工ビーチ周辺で集合した後、ふり返りを行い、講師へ感想などを伝える。（ここで「海のゆりかご学習」は終了となります。）
- ④ 採集した生き物や植物は、できる限りリリースする。
- ⑤ 借用した道具類は、全て由良コミセン外の水シャワーで水洗いをして自然の家職員に返却する。

※③の後に、自主活動として「磯遊び」を実施することもできます。





自然交流アクティビティ

磯あそび カニ釣り



ヤドカリ、カニや小魚など磯の小動物に触れることができる活動です。
箱めがねなどを用いることで、ふだん見る機会の少ない海の中の様子も観察できます。

1 わらいとして考えられるもの

海の生き物への興味や関心を高める。自然に触れ、自然に親しむ。

2 活動場所 ※マップ参照

人工ビーチ、白山島周辺の自然磯、ホテル八乙女前

3 活動時間

40分～

4 必要な道具や服装

【貸し出しできるもの】

・バケツ ・箱めがね ・ライフジャケット ・たも ・ザル

【団体の準備物】

- ・ぬれてもよい服装（水着＋Tシャツが最適）
- ・シューズ（バックベルト付タイプのサンダル、またはマリンシューズ）
- ・カニ釣り用具（割りばし、たこ糸、スルメ、おもり）
- ・その他、磯あそびに必要な道具（網など）

5 活動の進め方

- ①水着に着替え、ライフジャケットを着る。
- ②シューズをはいて、活動場所へ移動。
- ③活動範囲、活動の仕方、危険生物、注意点について説明を聞く。（自然の家職員もしくは引率者）
- ④磯あそびやカニ釣りの活動をする。

6 留意事項

- ・海藻がたくさん生えている場所には、「カギノテクラゲ」がいる場合があるので近づかない。
- ・岩場には「シロガヤ(鳥の羽のようなもの)」がくっついているので、注意する。
- ・藻がついたコンクリートは、すべりやすくなっているので注意が必要。
- ・グループやペアを組むなど、子ども同士の事故防止意識をもたせてください。
- ・採集した生き物は、環境保護のためリリースをお願いしています。

カニ釣りにチャレンジしてみよう！

- ①割りばしに、たこ糸を結ぶ。
- ②たこ糸に、スルメとおもりをつける。
- ③カニがいそうな所にスルメを近づける。
または、カニを見つけてスルメを近づける。
- ④カニがスルメをつかんだら、ゆっくり上げる。
- ⑤水面近くまで引き上げる。
(水面から出るとにげてしまう)
- ⑥手でつかむか、網ですくう。
- ⑦バケツなどに入れる。



人工ビーチの様子



自然交流アクティビティ

白山島散策



白山島は、由良地域のシンボルとして地元の人に愛されてきた島です。天気の良い時は遠く鳥海山や庄内浜の海岸線、また、日本海の様子を眺めることができます。

1 ねらいとして考えられるもの

鳥海山、庄内浜の景色に触れる。

2 活動場所

白山島、白山神社階段

3 所要時間

40分～自由に設定

4 準備物

- ・ライフジャケット（自然の家で貸し出します）
- ・バックル付きのサンダルかシューズ

5 留意事項

- ・島に沿って設置されている遊歩道の一部が、当面の間、通行止めになっています。
- ・白山神社の階段は狭く急なため、団体人数を考慮して実施してください。また、リュック等を背負った状態で登ることは危険ですのでおやめください。肩掛けの水筒のみであれば可能です。また、神社の奥に続く道は、狭く、危険なため、通行不可能です。
- ・事前に下見をされることをおすすめします。



自然交流アクティビティ

海岸散策

ビーチコーミング



由良海水浴場周辺を散策する活動です。活動場所は、砂浜、磯場、港周辺など目的に応じて選択できます。

ビーチコーミングは、漂流物を探しながら海岸散策をする活動です。

「貝殻クラフト」とのかかわりをもたせて実施するのもおすすめです。

1 ねらいとして考えられるもの

庄内浜の景色や地磯の景色に触れる。

2 活動場所

由良海水浴場、人工ビーチ、由良港周辺

3 所要時間

40分～自由に設定

4 準備物

- ・ライフジャケット（自然の家で貸し出します）
- ・バックル付きのサンダルかシューズ
- ・飲み物
- ・漂流物を入れる袋
- ・ザル

5 留意事項

- ・水上や海岸に打ち上げられた正体不明の浮遊物には触れないよう、事前にご指導ください。
- ・多少の荒れ模様でも実施可能です。荒天プログラムとしてもご活用ください。
- ・由良港周辺の散策については、漁業・港湾関係者の作業の妨げにならないようご注意ください。





日本海に面した庄内浜では、四季折々様々な魚が釣れます。海に釣り糸を垂れ、気長に魚が釣れるまでを楽しみましょう。魚が釣れない時もありますが、それもまた自然です。

1 ねらいとして考えられるもの

磯釣りを通して自然に触れ、自然に親しむ。海の生き物への興味や関心を高める。

2 活動場所

① 白山島北側磯場

- ・自然の地磯で雰囲気もよく、魚影も濃い。多様な魚が釣れる
- ・足場が悪く、滑りやすいので、注意が必要。
- ・岩に針が引っかかりやすく、竿の操作が難しい。 ・島にトイレがある。

② 人工ビーチ南側

- ・小さな港の一角。足場が良く、釣りやすい。
- ・回遊魚は少ないが、沈み石付近に根魚がいる。

③ 由良本港堤防



白山島釣り場



人工ビーチ南側

3 所要時間

60分程度～（団体で設定）

4 準備物

【自然の家で貸し出す物】

- ・バケツ ・ライフジャケット

【団体で準備する物】

- ・釣りエサ ・釣り道具（自前で用意する場合） ・軍手 ・飲み物 ・タオル ・帽子など

【釣堀で貸し出す物（有料／1セット 2000円）】

- ・釣り竿1本 ・おもり、はさみ、糸、針、針外し ・ひもつきバケツ ・釣りエサ
- ・バケツ ・コマセ

※団体が、由良海洋釣堀（73-2666）へ直接電話をして、貸出予約を行う。【日時、団体名、希望する釣り道具のセット数】を伝えると、その時期に釣れる魚に合わせて釣堀職員が仕掛けと餌を用意する。すぐに使える状態で提供される。最大貸出セット数…20セット

5 釣れる魚

【主な釣れる魚】 参照：加茂水族館公式ホームページ



クジメ、アイナメ



キュウセン



フゲ



シノコダイ（クロダイの稚魚）

6 釣りエサ

- ・オキアミ（エビ：小さい物がよい） ・イソメ

※各団体が、事前に釣具店等で購入してください。

※由良で購入可能な場所・・・海洋釣堀（73-2666）

7 留意事項

- ・人数や参加者の様子、支援体制などを考慮し、場所の下見を行ってください。
- ・釣った魚は、可能な限りリリースしてください
自然の家への持ち込みはできません。退所日などそのまま帰る場合は持ち帰りもできます。
- ・自然の家から借りた道具は、水洗いして返却ください。



海洋釣り堀では、四季折々の様々な魚を釣ることができます。釣り竿やエサは、料金に含まれますので、装具の準備も必要ありません。

また、多少の荒天時も釣りが可能なので、荒天時の活動としても活用できます。

1 ねらいとして考えられるもの

魚釣りの楽しさを味わう。海の生き物への興味や関心を高める。

2 活動場所

ゆら海洋釣り堀

(白山島内 0235-73-2666) ※トイレ完備

3 活動可能期間

※料金表で確認ください。(4ページ参照)

4 所要時間

60分程度～(団体で設定)

5 料金

※料金表で確認ください。(4ページ参照)

6 釣りの進め方

事前申し込みは、自然の家活動プログラム記載で完了。自然の家より釣り堀に利用の連絡をします。

①釣り堀に行き、受付に人数を伝え、料金を支払う。

②釣り竿とエサ(オキアミ)を受け取る。(その他のエサは、別料金で購入できます。)

～釣りをする。～

※糸が切れてしまっても、交換してくれます。釣り堀係員にお問い合わせください。

③魚を袋に入れる。

④退館

※可能な範囲で所員が現地サポートします。

7 釣った魚について

・釣った魚は、自然の家への持ち込みはできません。

退所日などそのまま帰る場合のみ持ち帰りができます。

【氷保存して持ち帰る】

・釣りが終わったら、魚をチャック付きのビニール袋等に入れる。

・団体がクーラーボックスを用意し、まとめて氷保存してください。

8 準備物

【釣り堀にあるもの】

・釣りざお(仕掛け付き) ・釣リエサ(オキアミ1人1袋)

【自然の家で貸し出す物】

・ライフジャケット

【団体に準備する物】

・チャック付きビニール袋 ・マジックペン ・クーラーボックス

9 留意事項

釣りの中止、延期、人数の変更がある場合、自然の家と釣り堀の両方に連絡してください。

前日までにはご連絡をお願いします。





自然交流アクティビティ

夜の生き物観察



夜の海では、夜行性のカニや魚など、昼間には見ることができなかった生き物を観察することができます。懐中電灯で水の中を照らして生き物探しをしてみましょう。
潮風テント泊の団体のみ実施できる活動です。

1 ねらいとして考えられるもの

夜の海の雰囲気味わうと共に、夜行性の海の生き物にふれる。

2 活動場所

人工ビーチの手前側のみで活動する。(飛び石を渡ったり、奥の方に行ったりしない)

3 所要時間

30分～自由に設定

☆「きもだめし」ではなく、夜の海辺の雰囲気を感
じたり、自然の奥深さや神秘性を感じたりできる
ような運営をおすすめします。

4 準備物

【自然の家で準備するもの】・ライフジャケット (必ず着用)

【団体で準備するもの】 ・バックル付きのサンダルかズック ・懐中電灯 ・軍手 (必要な場合)

5 留意事項

- ・活動範囲はあまり広くとらず、目の届く範囲で安全に実施してください。
- ・捕まえた生き物は、リリースしてください。



自然交流アクティビティ

海岸清掃 ボランティア



海岸清掃を通して、自然環境などについて考える活動です

1 ねらいとして考えられるもの

海岸のゴミ拾い活動などを通して、海岸線の自然環境について考える。

2 活動場所

由良海水浴場、人工ビーチ

3 所要時間

30分～自由に設定

4 申込方法・提出物

事前に「鶴岡市クリーン作戦実施計画書」、事後に「鶴岡市クリーン作戦実施報告書」の作成と提出が必要。(3ページを参照)

どちらも鶴岡市のホームページからダウンロードで入手できます。

5 準備物

【自然の家で準備するもの】 ・(必要に応じて)ライフジャケット

【団体で準備するもの】 ・バックル付きのサンダルかズック ・軍手 ・ゴミ袋

※ゴミ袋は、利用団体で、鶴岡市環境政策課へ事前申請し、取り寄せてください。

6 ゴミの処理やその他留意事項

- ・収集したゴミは、由良プレハブ小屋脇にまとめて置いてください。
鶴岡市で処分いたします。(鶴岡市に実施計画書を提出した場合のみ)
- ・海開き前の時期は、機械を入れて大規模な海岸清掃が入ります。実施日等事前にご相談ください。
- ・水上や海岸に打ち上げられた、正体不明の浮遊物には触れないよう事前にご指導ください。



由良海水浴場で砂を使った造形を楽しむ活動です。活動の進め方も団体にあわせて工夫して取り組むことができます。

1 ねらいとして考えられるもの

造形活動を通して、仲間同士のコミュニケーションを図り、交流を深める。

2 活動場所

由良海水浴場

3 所要時間

団体で設定

4 準備物

【自然の家で貸し出し可能な物】

- ・バケツ（10個）
- ・移植ベラ（10個）
- ・ライフジャケット

【団体で準備する物】

- ・バックル付きサンダルかシューズ
- ・飲み物
- ・タオル
- ・スコップ等のその他造形活動に必要な道具



5 活動の進め方（例）

- ① グループを作る。
- ② 全体のサンドアートのテーマを決める、または、グループで考えたテーマで作品を作る。
- ③ 砂浜に、作る作品の大きさがわかるように円を描く。
- ④ バケツに海水をくむ。
- ⑤ 円の中に砂を盛り、海水をかけたり、海水と混ぜた砂を盛ったりして、作りたいものを造形していく。
- ⑥ 移植ベラ、流木、手などを使って細かい部分を仕上げる。
- ⑦ 作品ができあがったら、他のグループの作品を鑑賞する。
- ⑧ グループで振り返りをし、共有する。

6 留意事項

- ・水上や海岸に打ち上げられた、正体不明の浮遊物には触れないよう事前にご指導ください。
- ・作る場所が波打ち際に近すぎると、波の影響を受けてしまいます。
反対に遠すぎると水をくむのが大変ですので、活動場所を考慮してください。
- ・砂浜には、危険物が交じっている場合があります。必ずサンダル等を着用してください。
- ・完成した作品を鑑賞後は、砂浜を元通りに戻してください。
- ・熱中症に十分注意し、こまめな水分補給をしてください。



ボンファイヤーは、大きな火床は組まずに、小さなたき火を囲みながら静かに語り合う活動です。ここでは、儀式も出し物も必要としません。波の音を聞きながら、今日1日をふり返り、静かな夜を過ごしてみませんか。

1 ねらいとして考えられるもの

グループ・班ごとの交流を深める。

1日の活動のふりかえりや次の日の活動に向けて話し合う。(話し合いの場として実施する)

2 活動場所

由良海水浴場 白山橋右側海岸 ※テントサイトからは十分離れた場所

砂の上で、直火で火をたくことができます。

3 所要時間

30～60分 (団体で調整してください)

4 準備物

【自然の家で準備する物】

・薪(1班1束) ・灰捨て缶(蓋つき) ・火ばさみ ・ブロック(重し用) ・ふるい

【団体で準備する物】

・たきつけ道具(マッチ、新聞紙等) ※活動の内容によって必要なものは団体で準備。

【服装】

・夜の浜辺に適した服装(夏でも長そで・長ズボンが好ましい) ・帽子 ・軍手

※夜の活動なので、季節によっては防寒、虫除け対策も必要です。

5 留意事項

- ・ボンファイヤーの後始末(消火確認・灰の始末)は、引率者が確実に見届けまで行ってください。
- ・灰になるまで燃やし尽くしてから、灰捨て缶に入れてください。その後、ふたを閉め、重し用のブロックを蓋の上に置いてください。灰捨て缶は、一晩、由良小屋の脇(外)で保管してください。翌日、自然の家職員が片付けます。
- ・地域住民の迷惑にならないように、活動は静かに行ってください。
- ・21時までには活動を終了してください。



由良海水浴場は、毎年たくさんの観光客が訪れる人気の海水浴場です。白山島の美しさと日本海の雄大さを実感できる活動です。

1 ねらいとして考えられるもの

海水浴を通して自然に触れ、自然に親しむ。海の生き物への興味や関心を高める。

2 活動場所

由良海水浴場

3 所要時間

団体で設定

4 準備物

【自然の家で貸し出し可能な物】

・ライフジャケット

【団体に準備する物】

・バックル付きサンダルかシューズ ・飲み物 ・タオル ・浮き輪など必要なもの

5 活動の進め方

- ①水着に着替えて、海水浴場に集合する。
- ②準備運動をし、引率者の監視の下、遊泳する。
→10～15分間に一度休憩時間を入れ、人数確認や健康観察をする。
- ③遊泳終了時には、全員そろったことを確認する。
- ④シャワー等を行う。

7 留意事項

- ・引率者の監視の下、風や波の状況を正しくとらえながら、安全に活動する。
- ・個々の泳力や健康状態を十分に把握し、事故防止に努める。
- ・監視は複数体制で行う。
- ・参加者同士、事故防止意識を高めるような事前指導をする。
- ・こまめに水分をとるなど、熱中症に気をつける。
- ・水上や海岸に打ち上げられた、正体不明の浮遊物には触れないよう事前にご指導ください。

〔由良海水浴場〕





砂浜で拾ってきた貝がらや流木を生かして、自分の好きなものを作る活動です。
海活動の思い出としても人気があります。

1 ねらいとして考えられるもの

貝がらや流木など、海の材料を生かした物づくりを楽しむ。

2 活動場所

- ・貝がら、流木拾い → 由良海水浴場
- ・製作活動 → 由良コミセン

3 所要時間

- ・貝がら、流木拾い → 40分～
- ・水洗い、乾燥 → 30分～
- ・製作活動 → 60分～

4 料金 (1人あたり)

- ・貝殻クラフト 40円
- ・ルームボード 160円
- ・メモリアルフォトフレーム 130円
- ・ボンド類各種(ホットボンド、木工ボンド、多用途ボンド) 各10円
⇒上記以外でも、持ち込み材料と拾った物を組み合わせた工作も可能です。

5 準備物

【自然の家が準備するもの】

- ・グルーガン ・動眼 ・ペン ・ザル(拾った物を洗い、水を切るため)

【団場で用意する物】

- ・拾った物を入れる袋 ・新聞紙 ・軍手 ・作品を入れて持ち帰るための袋や箱
- ・拾った物の水気を切るタオル等(キッチンペーパーをおすすめします)

6 活動の進め方

【貝がら、流木拾い】

- ①由良海水浴場へ集合
- ②貝がらや流木を拾う
- ③砂や汚れを洗い、水気を切り、乾かす

【製作活動】

- ①動眼を1人2個配る
- ②材料を見て、作りたいものを決める
- ③ペンで材料に色をぬる
- ④ホットボンドで材料を接着する



貝殻クラフト作品例

7 留意事項

- ・材料を拾う際は、サンダルや軍手を着用し、けがのないようにする。
- ・こまめに水分をとるなど、熱中症に気をつける。
- ・水上や海岸に打ち上げられた、正体不明の浮遊物には触れないよう事前にご指導ください。



自然交流アクティビティ

加茂水族館見学 学習会 (クラゲ・海ごみ・食育)



加茂水族館は、クラゲ展示種数世界一で知られる水族館です。また、庄内に生息する海・川の生き物についても分かりやすく展示しています。

クラゲ学習会ではクラゲの生態や繁殖・分類などについて、海ごみ学習会では海洋ごみ問題について、食育学習会では、庄内地方の歴史と食文化の関係について詳しく学ぶことができます。

1 ねらいとして考えられるもの

- ・水族館内の展示やクラゲ学習会・海ごみ学習会等で実物を観察し、自然や環境問題について考える。
- ・海や川の生き物やその生息環境への興味や関心を高める。
- ・庄内の歴史を通して、地域の海や食文化の特徴について学べる。

2 活動場所

加茂水族館

3 申込方法

【水族館見学】

- ・直接水族館にFAXかメールでお問い合わせの上、申請手続きをおこなってください。
- ・申込書のコピーを自然の家へFAXで提出してください。

【学習会】

- ・加茂水族館ホームページの申込専用フォームから、**利用団体が直接申し込みください。**
→必ず、実施日の1か月前まで
- ・申し込み内容を「活動プログラム」に記入して自然の家にもお知らせください。
- ・申込書のコピーも自然の家へ提出してください。

4 所要時間と人数および費用

【水族館見学】

- ・開館時間…9:00～17:00 年中無休
- ・入館料……割引や減免制度あり（加茂水族館公式ホームページでご確認ください）

【学習会】（10名以上からの受付。ただし、学校行事の場合は少人数でも可。）

	クラゲ学習会	海ごみ学習会	食育学習会
開催時間	9:30～15:30の間で開始時間を設定できます。		
所要時間	約30分または約60分(入退室込み)		約30分(入退室込み)
可能人数	最大80名程度/回まで		
料金	学校団体等は無料(要事前の入館料減免申請)		

5 活動の進め方

【加茂水族館見学】

窓口で受付をし、引率者の指示のもと自由に見学する。

【学習会】

- ①窓口で受付をし、学習会の予約をしていることを伝える。
- ②講師の先生の指導のもと、学習会を行う。
 - ・事前に水族館担当職員と学習のねらい、内容等を相談しておいてください。
 - ・館内の見学と学習会を組み合わせるプログラムも組めます。

6 留意事項

- ・昼食（特にお弁当）をとる場所として、晴れていれば屋上のテラスが使用可能ですが、団体の人数や当日の混み具合によって不可能な場合があるため、事前に直接水族館へお問い合わせください。また、近くにある加茂水産高校の校舎内で、晴天・雨天を問わず昼食場所を借用することが可能です。（事前に加茂水産高校への問い合わせが必要です。）
- ・他の来館者の迷惑にならないよう、必ず参加者に対して事前にマナー指導を行ってください。
- ・現在、加茂水族館のレクチャールームで昼食を取ることはできません。



仲間づくりアクティビティ 自然交流アクティビティ

漁業実習船乗船 加茂磯採集 加茂水産高校見学



県立加茂水産高等学校では、海洋活動に関する様々な学習を行うことができます。普段できない、触れることのできない学習活動を計画してみましょう。

1 ねらいとして考えられるもの

- ・加茂水産高等学校および周辺エリアの活動を通して
→自然に触れ、自然に親しむ。海の生き物への興味や関心を高める。
→仲間同士での協力性を養う。
- ・体験活動を通して、水産高校の学習内容を理解する。

2 活動場所

- 【漁業実習船乗船】 加茂港出港
- 【加茂磯採集】 加茂レインボービーチ
- 【加茂水産高等学校見学】 加茂水産高等学校

3 所要時間と人数・準備するもの

【ご利用の流れ】

- ①水産高校の活動を希望する団体から、自然の家へ連絡が入る。(日時・人数などを聞き取る)
- ②水産高校の実習担当の先生と自然の家が連絡を取り合い、当日の活動実施の可否について検討する。
- ③自然の家は、検討結果について団体へお知らせする。(可能となった場合、各種申請書類の作成と、自然の家への提出を依頼する)
- ④自然の家は、届いた書類を加茂水産高校へ送付する。
- ⑤必要に応じて、水産高校の実習担当の先生と団体の担当者が電話などで打ち合わせを行う。

漁業実習船乗船 (5～10月限定。土日は不可)

【内容】 漁業実習船に乗り、加茂港から出港して沖まで連れて行ってもらい、魚群探知機や魚を捕る仕組みについて、見て学ぶことができます。

【時間】 1航海 1～2時間程度 (応相談) 【料金】 1団体あたり燃料代 1000円 (当日現金支払い)

※ 実施可能時間 9:00～12:00、13:30～15:00

※ 平日でも、担当者の授業の関係でできない場合もあります。

※ 雨天時・荒天時は、「学校見学」に変更可能です。(事前要相談)

【人数】 1艇定員 10名 ※うち 1名は大人が乗船すること。(10名ずつの乗船を計4回転するやり方も可能です。ただし、1航海あたりの時間は短くなります。1団体あたり40名まで対応可能です。ご相談ください。)

【自然の家で準備するもの】 ライフジャケット

【個人で準備するもの】 外海に出ても寒くない服装、水筒、帽子

バックベルト付きサンダル、または、マリンシューズ、または、運動靴

加茂磯採集 (土日は不可)

【時間】 1時間程度 ※実施可能時間は、9:00～12:00、13:30～15:00

※ 平日でも、担当者の授業の関係で、できない場合あり。

※ 雨天時・荒天時は、「学校見学」に変更可。(事前要相談)

【人数】 40名程度

【個人で準備するもの】 水にぬれてもよい服装

バックベルト付きサンダル、または、マリンシューズ、または、長靴

【自然の家で準備するもの】 ライフジャケット、たも、ザル、バケツ

加茂水産高等学校見学 (土日は不可)

【時間】 1時間程度 【人数】 何人でも可。 ※授業中の場合もあるので、静かに見学する。

【個人で準備するもの】 内履き

4 活動の進め方

※可能な範囲で、所員が現地サポートします。

【漁業実習船乗船】

- ① 実施日の前日の夕方、もしくは当日実施前（8：50か12：50）に、水産高校の実習担当教諭が自然の家に電話で実施可否判断の内容を伝える。その内容を自然の家から団体の担当者へ電話で伝える。
- ② 当日、団体は水産高校の裏に集合する。
- ③ 団体は水産高校の先生と簡単な打ち合わせを行う。乗船にあたっての注意事項の説明を聞く。
- ④ ライフジャケットをつけ、引率の先生とともに乗船・出港。
- ⑤ 帰港し、上陸後に人員確認。ライフジャケットを返し、水産高校の先生にあいさつをする。

【加茂磯採集】

- ① 水産高校の先生の指示に従い、観察場所に集合。
- ② 自然の家から魚を採る網を借用し、安全に気をつけながら採集・観察。
- ③ 借用したものは水洗いして返却する。
- ④ 採集した生き物は、できる限りリリースする。

【加茂水産高等学校見学】

- ① 引率者は事務室に出向き、あいさつをする。
- ② 担当の先生の指示に従い、簡単に「出会いのつどい（あいさつ・諸注意）」をする。
- ③ 説明を聞きながら見学。最後に「別れのつどい（お礼・感想発表）」をする。

5 その他

加茂水産高校の校舎内で、晴天・雨天を問わず昼食場所を借用することが可能です。事前に加茂水産高校への問い合わせが必要です。



海の生物を育成し、保護した後、自然に戻して漁業の促進を図る「つくる漁業」とも呼ばれる栽培漁業。稚魚や稚貝を育て、海に放流する事業の一部を見学することができます。

1 ねらいとして考えられるもの

栽培漁業の様子を見学し、漁業や海の生き物への興味や関心を高める。

2 活動場所

山形県栽培漁業センター（鶴岡市三瀬）

3 所要時間と人数・準備するもの

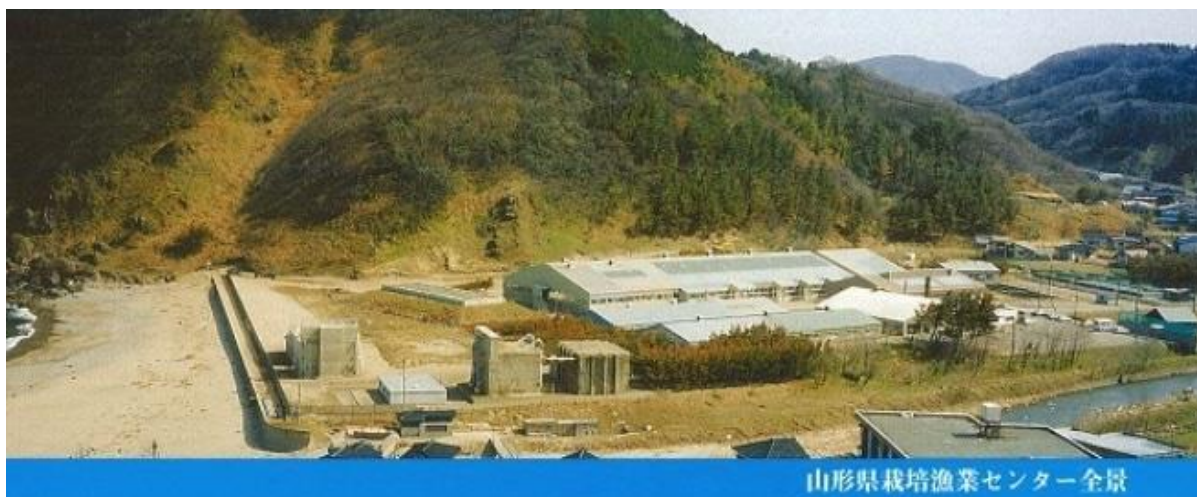
- ・平日午後のみ実施可能
- ・時間：1時間程度
- ・人数：30名程度まで（全面依頼の見学活動です）

4 活動の進め方

- ①事務室に出向き、受付を済ませる。
- ②簡単な「出会いのつどい」（あいさつ・諸注意）を行う。
- ③係の方の説明を聞きながら見学する。
- ④見学終了後、簡単に「別れのつどい」（感想発表・お礼・あいさつ）をする。

5 留意事項

- ・利用団体が、直接、見学の申し込みを行う。電話（0235）73-3763
- ・5月～6月の魚の繁殖時期は、大変忙しい時期になるため、見学できない場合があります。見学を希望する際には、早めに栽培漁業センターにお問い合わせをお願いします。見学決定の際は、自然の家にもご連絡をお願いします。
- ・7月～9月は、場内の気温が非常に高くなり熱中症の危険がありますので、見学できません。



山形県栽培漁業センター全景

由良コミセン申請書の記載例

3枚で1部(利用日の28日前までに郵送、または、持参で自然の家に提出)

様式第2号

コミュニティセンター使用許可申請書

申請者	団体等名称	〇〇小学校	令和 年 月 日 日付は、自然の家で記入します。 鶴岡市長 様
	所在地(住所)	鶴岡市〇〇町〇〇-〇〇	
	代表者	〇〇小学校 校長 又は 団体代表者	
	使用責任者	担当者名 電話 () 連絡先	

利用が複数日の場合は、1日ごとに申請書が必要です!

次のとおり使用したいので許可を申請します。

使用年月日	令和 〇年〇〇月〇〇日 ()	使用施設名	鶴岡市 由良コミュニティセンター
使用目的(〇を付ける)	会議 研修 練習 レクリエーション 業務 <u>その他</u> (金峰少年自然の家活動)		
行事の名称	自然教室 (いかだづくり・磯あそび・潮風野外炊飯など)		
使用人員	大人 5人 子供 20人 計 25人	入場料等	<input type="checkbox"/> 無 ・ 有 (一人 円)
使用室名	使用時間	飲酒の有無	冷暖房使用・時間
① 水シャワー	12:00~13:00	有 無	有 無 ~
② 水場 (潮風野外炊飯時)	9:00~14:00	有 無	有 無 ~
③ ホール	9:00~14:00	有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無 12:30~13:30
④		有 無	有 無 ~

※ 「水シャワー」は、いかだづくり・磯あそびの際には必須。
「水場」は、潮風野外炊飯の際には必須。

冷房使用希望の場合、「有」を囲み、使用時間を記載。

※	前準備及び使用後の片付け	冷暖房料 (円)	使用時間	使用料 (円)	備考
①	円	割	円	円×時間=	<input type="checkbox"/> (3)行政機関等 <input checked="" type="checkbox"/> (4)②学校関係 <input type="checkbox"/> (3) <input type="checkbox"/> (5)福祉団体等②(1~2) <input type="checkbox"/> (5)サークル・各種団体②(3~6) <input type="checkbox"/> (6)政治・宗教・組合等団体 <input type="checkbox"/> (6)営利 <input type="checkbox"/> (7)その他の団体
②	円	5・10割	円	円×時間=	
③	円	5・10割	円	円×時間=	
④	円	5・10割	円	円×時間=	
小計				燃料費(C)	円
免除額	全部・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部	5割		決定額合計(A+B+C)	円
決定額		(A)			
備考					確認印
受付年月日	許可年月日	許可書発行年月日	不許可・取り消し等		コミュニティ推進課 受付印
〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日			

以下はコミュニティ推進課で記入

記入例

提出先:山形県金峰少年自然の家 提出期限:利用日の28日前まで

FAX可

由良コミセン利用計画表

提出日: _____

※由良での海活動を行う全ての団体(記入)

団体名	鶴岡市立金峰小学校	活動日	令和8年6月4日(木)
使用人員	子ども: 80人 大人: 10人	計:	90人

記入例

由良コミセンの使い方を選択してください	使用する時間	冷房を使う時間
↓✓を選択	(例)9:00~13:00	(例)9:00~9:15、12:30~13:00
✓ 海活動の拠点地として使用する	9:00~14:00	12:30~14:00
✓ 水シャワーを使用する	12:00~13:00	

《海活動前》

↓✓を選択	活動前の着替えと部屋の使い方について下記の4つの中から選び✓を入れる
	終日、着替えをしない
	大ホールを2室に区切り、男女一斉に着替える
✓	着替えが済んだ状態で由良コミセンに着く
	大ホールを使い、男子と女子が交代で着替え、一方は外で待機する

《海活動後》

↓✓を選択	活動後の着替えと部屋の使い方について下記の2つから選び✓を入れる
	大ホールを2室に区切り、男女一斉に着替える
✓	大ホールを使い、男子と女子が交代で着替え、一方は外で待機する

※令和8年度より、由良コミセンで利用できる場所は、原則として「大ホール」「トイレ」「大ホールとトイレの間の廊下」のみとなります。

※ただし、諸事情により他の部屋を使用する必要がある場合は、下記の✓を選択のうえ事前にご相談ください。

✓	大ホール以外の部屋の使用が必須
---	-----------------

※「いかだ活動」を実施する団体は、「いかだレスキュー艇依頼申請書」「いかだ活動計画表」も併せて提出してください。

※由良で「野外炊飯、潮風テント泊」を行う団体、「温水シャワー」を利用する団体は、「温水シャワー・海テラス使用申請書」も併せて提出してください。

提出先: 山形県金峰少年自然の家

FAX可

いかだレスキュー艇依頼申請書

提出日: 令和7年5月20日

レスキュー艇船長 殿

利用団体名: カップル小学校

利用団体代表者: 校長 金峰 一郎

引率代表者: 教諭 金峰 花子

住所: 飽海郡遊佐町菅里字菅野 2 9 9

電話番号: 0 2 3 4 - 2 4 - 2 4 0 0

記入例

下記の通り山形県金峰少年自然の家の研修活動として、いかだづくりならびに体験航海を実施いたしますので、レスキュー艇の配置をよろしくお願ひします。

記

1 利用団体名

2 学年

児童・生徒数

引率者数

(5) 年

(28) 人

(6) 人

3 実施期日

開始時間

終了時間

令和8年7月1日(水)

10時30分

～

14時00分

4 出航艇数

作るいかだの艇数 (3) 艇

海に出るいかだの出航回数 (3) 回

例①: 3艇づくり、1艇あたり1回ずつ
使って航海をする場合。

つくるいかだの数 (3) 艇

海に出るいかだの出航班数 (3) 班

例②: 4艇づくり、1艇あたり2回ずつ使い、
実際には8艇分航海をする場合。

つくるいかだの数 (4) 艇

海に出るいかだの出班回数 (8) 班

5 大人と一緒になければいかだに乗れない児童・生徒がいますか？

いる場合は、「いる」にして人数を記載してください。

 いない いる (1) 人

※いかだレスキュー艇料金 (令和6年度より改定)

○基本料金: 2,000円 + 出航班数1回あたり: 4,000円

例: 8班の場合

⇒ 2,000円 + 4,000円 × 8班 = 34,000円

※ 支払いは、銀行振り込みです。(振込手数料をご負担ください。)

※ 振込票を領収書に代えさせていただきます。

※ 現地で請求書をお渡しいたします。

※ レスキュー艇料金は、いかだ実施日より1週間以内に振込をお願いします。

提出先: 山形県金峰少年自然の家

提出期限: 利用日の28日前まで

FAX可

提出日: _____

記入例

いかだ活動計画表

団体名	鶴岡市立金峰小学校		活動日	令和8年6月4日(木)	
作るいかだの数	4 艇		海に出る班の回数	8 班	
★「予定時刻」、「担当者名」を記入してください。 様式は各校(各団体)の活動予定に合わせ、修正してお使いください。					
活動(計180分)	内容	場所	必要な人数	担当者名	
集合・説明 (15分)	・道具の種類と数量の説明 ・ライフジャケットの着用	由良小屋前	自然の家職員が行います		
運び出し (15分)	竹出しの補助	竹置き場	1名	①	金峰 一郎
	用具類の置き方の補助	砂浜	1名	②	金峰 次郎
いかだ組立て (75分)	いかだ作りの補助	砂浜	いかだ1~2艇に1名	①	金峰 一郎
	ステップ① 竹を置く (15分)			②	金峰 次郎
	ステップ② 竹と竹を結ぶ (30分)			③	金峰 三子
	ステップ③ 竹とブイを結ぶ (30分)			④	金峰 五郎
航海準備 (10分)	ライフジャケットのベルト点検	砂浜	いかだ1~2艇に1名	上記のいかだづくり補助の方	
	いかだのこぎ方説明	砂浜	自然の家職員が行います		
いかだ出し	いかだを海に出す (引率者は全員水着着用) (首まで海に浸かる可能性あり)	砂浜	いかだ1~4班 前側1名 後側1名	①	金峰 一郎
				②	金峰 次郎
				③	金峰 三子
				④	金峰 五郎
航海 (35分)	レスキュー艇でけん引する	海上	レスキュー艇船長が行います		
いかだ引き上げ	いかだを海から引き上げる (引率者は全員水着着用) (首まで海に浸かる可能性あり)	砂浜	いかだ1~4班 前側1名 後側1名	①	金峰 一郎
				②	金峰 次郎
				③	金峰 三子
				④	金峰 五郎
後片付け (30分)	いかだ解体の補助	砂浜	2名	①	金峰 一郎
	水シャワーの支援 ライフジャケット水洗い	コミセン屋外	1名	③	海浜 海太
	温水シャワーの支援・清掃 【※温水シャワー利用団体のみ】	海テラス ゆら磯の風	男女各1名	※④ ※⑤	金峰 三子 金峰 五郎

別々の人を配置してください

別々の人を配置してください

提出先:山形県金峰少年自然の家

FAX可

「温水シャワー・海テラスゆら磯の風 緊急避難施設」使用申請書
 (※温水シャワー使用の団体、および、潮風テント泊の団体は提出)

提出日: 令和8年4月1日

由良自治会 様

記入例

利用団体名: カップル小学校

利用団体代表者: 校長 金峰 一郎

引率代表者: 教諭 金峰 花子

住所: 飽海郡遊佐町菅里字菅野299

電話番号: 0234-24-2400

温水シャワー					
利用団体名	カップル小学校				
使用日時	月日	令和8年7月9日(水)	開始時間	13時00分	～
	月日		終了時間	14時50分	まで
使用人数及び学年	第	5	学年	17	名 引率者 5 名
使用料の額	小中学生 200円	17	名	高校生以上 350円	5 名 合計 5150 円

※利用当日のキャンセルはできません。(いかなる中止の場合を除く、人数変更は可)

海テラスゆら磯の風 緊急避難施設 (潮風テント泊団体のみ)					
利用団体名					
使用日時	月日		開始時間		～
	月日		終了時間		まで
使用人数及び学年	第		学年		名 引率者 名
カギ管理責任者 職・氏名					
連絡可能な携帯電話番号					

提出先:山形県金峰少年自然の家

FAX可

加茂漁業実習船乗船・加茂磯採集・加茂水産高等学校見学 申請書

提出日: 令和8年4月1日

山形県立加茂水産高等学校長 殿

記入例

利用団体名: カップル小学校

利用団体代表者: 校長 金峰 一郎

引率代表者: 教諭 金峰 花子

住所: 飽海郡遊佐町菅里字菅野299

電話番号: 0234-24-2400

海洋体験学習での使用、および加茂水産高等学校の見学利用について、下記の通り申請いたします。なお、実際のご指導もよろしく申し上げます。

1 実施する体験にして、利用日時を記入してください。 漁業実習船乗船体験

月日	令和6年6月14日(金)	開始時間	10時00分	～
		終了時間	12時00分	まで

 加茂磯採集

月日		開始時間		～
		終了時間		まで

 加茂水産高等学校見学

月日		開始時間		～
		終了時間		まで

2 学年及び利用人数

第 5 学年 16 名 引率者 5 名

3 その他

提出先:山形県金峰少年自然の家

FAX可

海のゆりかご学習 申請書

提出日: 令和7年4月15日

由良藻場保全会 会長殿
水産技術振興センター 所長殿利用団体名: カップル小学校
利用団体代表者: 金峰 山夫
引率代表者: 海浜 海男
住所: 山形県鶴岡市高坂字杉ヶ沢54-1
電話番号: 0235-00-0000**記入例**由良における下記の海洋活動について、下記の通り申請いたします。
なお、実際のご指導もよろしくお願ひします。

- 1 実施する活動に
-
- を入れて、利用日時を記入してください。

海のゆりかご学習

日付(曜日) 令和7年6月4日(水)

-
- ① 講師による講話(由良コミセンの屋内にて)

開始時刻 13時45分 ~ 終了時刻 14時10分 まで

-
- ② 講師と磯の見学(由良の人エビーチの磯場にて)※およそ30~40分

開始時刻 14時10分 ~ 終了時刻 14時40分 まで

※②と③を続けて実施する場合、②の終了時刻と③の開始時刻の間に、ふり返り(感想発表)の時間(5分ほど)を入れるようにしてください。

-
- ③ 磯遊び(②終了後の活動です。こちらは団体の自主活動となります。)

開始時刻 14時45分 ~ 終了時刻 15時15分 まで

- 2 利用人数及び学年

27 名 (第 5 学年) 引率者 3 名

- 3 その他

本計画書は、市環境政策課と金峰少年自然の家の両方に FAX で送ってください。

鶴岡市クリーン作戦 実施計画書

実施日の5日前まで、鶴岡市環境政策課（実施する場所が鶴岡地域）又は各地域庁舎担当課（実施する場所の地域庁舎）にご提出ください。（FAX 可）

団体名	鶴岡市立金峰小学校	担当者氏名	海晴 空人
		電話番号	0235-24-2400
団体所在地	鶴岡市高坂字杉ヶ沢54-1	記入例	
実施日時	○年 ○月 ○日 (○) ○時 ~ ○時まで ※中止した場合は必ず環境政策課又は各地域庁舎担当課にご連絡ください。 クリーン作戦実施期間は、概ね4月から10月までです。		
実施場所	鶴岡市由良海岸	参加予定者数	53人
ごみの集積場所	由良プレハブ小屋脇 ※収集車両が近づけるところに風で飛ばされないように集積してください。		
ごみ袋の必要枚数	白袋（もやすごみ） <u>10</u> 枚 紙・ビニール・プラスチック・ゴム・ペットボトル用 （ごみ袋に入る大きさのもののみ） ※草、落ち葉、ごみ袋に入らない大きさの流木は収集できません。		
※必ず市が提供するごみ袋を使用してください。	青袋（もやすごみ以外） <u>10</u> 枚 空缶・空びん・金属・ガラス・せともの用 （ごみ袋に入る大きさのもののみ） ※粗大ごみは集めないで、そのものがある場所をご連絡ください。		
ごみ袋の配布方法	<input type="checkbox"/> 環境政策課に取りに行く <input type="checkbox"/> 各地域庁舎担当課に取りに行く <input checked="" type="checkbox"/> （ 由良コミセン ）に届けて欲しい※鶴岡地域のみ		

〔ご注意ください〕

・クリーン作戦実施後5日以内に実績報告書を提出してください。

・ごみ袋が余った場合は、飛ばされないように集積場所に置いておくか、環境政策課又は各地域庁舎担当課へご返却ください。

鶴岡市市民部環境政策課	鶴岡市宝田3丁目13-6	TEL 22-2848	FAX 22-2879
鶴岡市藤島庁舎市民福祉課	鶴岡市藤島字笹花25	TEL 64-2111	FAX 64-5940
鶴岡市羽黒庁舎市民福祉課	鶴岡市羽黒町荒川字前田元89	TEL 62-2111	FAX 62-4873
鶴岡市櫛引庁舎市民福祉課	鶴岡市上山添字文栄100	TEL 57-2116	FAX 57-2119
鶴岡市朝日庁舎地域づくり推進課	鶴岡市下名川字落合1	TEL 53-2111	FAX 53-2119
鶴岡市温海庁舎市民福祉課	鶴岡市温海戊577-1	TEL 43-4613	FAX 43-4631

本報告書は、市環境政策課と金峰少年自然の家の両方に FAX で送ってください。

鶴岡市クリーン作戦 実績報告書

実施後5日以内に鶴岡市環境政策課（実施した場所が鶴岡地域）又は各地域庁舎担当課（実施した場所の地域庁舎）にご提出ください。（FAX 可）

団体名	鶴岡市立金峰小学校		担当者氏名	海晴 空人	
			電話番号	0235-24-2400	
実施日時	令和 ○年 ○月 ○○日（ ○ ） ○時まで				
実施場所	鶴岡市由良海岸			参加者数	53人
収集に要した袋の数	白袋（紙・ビニール・プラスチック等のもやすごみ）		<u> 8 </u> 枚		
	青袋（もやすごみ以外）		<u> 8 </u> 枚		
余った袋の数 ※必ず返却してください。	白袋		<u> 2 </u> 枚		
	青袋		<u> 2 </u> 枚		
	※飛ばされないように集積場所に置いておくか、環境政策課又は各地域庁舎担当課へご返却ください。				



- | | | | |
|-----------------|-----------------|-------------|-------------|
| 鶴岡市市民部環境政策課 | 鶴岡市宝田 3 丁目 13-6 | TEL 22-2848 | FAX 22-2879 |
| 鶴岡市藤島庁舎市民福祉課 | 鶴岡市藤島字笹花 25 | TEL 64-2111 | FAX 64-5940 |
| 鶴岡市羽黒庁舎市民福祉課 | 鶴岡市羽黒町荒川字前田元 89 | TEL 62-2111 | FAX 62-4873 |
| 鶴岡市櫛引庁舎市民福祉課 | 鶴岡市上山添字文栄 100 | TEL 57-2116 | FAX 57-2119 |
| 鶴岡市朝日庁舎地域づくり推進課 | 鶴岡市下名川字落合 1 | TEL 53-2111 | FAX 53-2119 |
| 鶴岡市温海庁舎市民福祉課 | 鶴岡市温海戊 577-1 | TEL 43-4613 | FAX 43-4631 |

----- 以下は記入しないで下さい -----

クリーン作戦実績

収集日	平成 年 月 日（ ）				午前・午後	転記者印
収集者						
収集量	可燃	k g	不燃	k g		